

書評 202006



オルガ(CREST BOOKS)

ベルンハルト・シュリンク 著

新潮社

北の果てに消えた恋人へ。小さな家庭の幸せを求めたオルガ、ドイツ国家拡大への夢に憑かれたヘルベルト。言えなかった思いが最果ての地に眠る手紙から溢れだす。20 世紀を生きぬいた、あるポーランド系女性の波瀾の生涯。

2020/4./ 229p

978-4-10-590165-3

本体 ¥2,000+税



産経新聞 2020/06/06



キャラでわかる! はじめての感染症図鑑

岡田 晴恵 著

日本図書センター

知識ゼロから学べる、感染症の超入門図鑑。インフルエンザ、風疹など感染症をおこす病原体をキャラクターにして、自分語りで感染症を説明。新型コロナウイルスの基本情報や、すぐに役立つ対策方法も Q&A 形式で収録する。

2020/4./ 143p

978-4-284-20472-9

本体 ¥1,200+税



産経新聞 2020/06/06



天皇皇后両陛下が受けた特別講義～講書始のご進講～

KADOKAWA 編

KADOKAWA

150 年以上昔から宮中で脈々と続いてきた「講書始の儀」。平成 23 年から令和 2 年までの「講書始の儀」より、人文科学・社会科学・自然科学の各分野にわたる多彩なテーマの 30 講義を収録する。

2020/5./ 317p

978-4-04-604752-6

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2020/06/07



星に仄めかされて

多和田 葉子 著

講談社

留学中に「母国の島国」が消滅してしまった女性、Hiruko がつくり出した独自の言語<パンスカ>は、見知らぬ人々を結びつけ...。「地球にちりばめられて」に続く、国境を越えたサーガ第 2 部。『群像』連載を単行本化。

2020/5./ 342p

978-4-06-519029-6

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2020/06/07



銀花の蔵

遠田 潤子 著

新潮社

血なんてつながってなくても、こんなに「家族」だ。大阪万博に沸く日本。座敷童が出るという言い伝えの残る、歴史ある?油蔵で育った少女・銀花は、家族を襲う数々の苦難と一族の秘められた過去に対峙しながら大人になる....

2020/4./ 325p

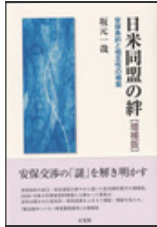
978-4-10-319832-1

本体 ¥1,700+税



産経新聞 2020/06/07

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、資料 No.、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会が弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は 2020 年 7 月時点での税抜価格です。



日米同盟の絆 増補版

坂元 一哉 著
有斐閣

日米安全保障は今後、どうあるべきか。日米間の「物と人との協力」という基本構造がどのように誕生し、確立したのか、戦後初期の日米関係の中で振り返る。近年公開された新史料・研究成果をふまえて補注・補論を加えた増補版。

2020:4./ 9p,374p
978-4-641-14936-6
本体 ¥3,200+税

産経新聞 2020/06/07



迷いがすっきり消えるイソップ人生論

植西 聰 著
海竜社

願いを叶えたい、不運を逆転させたい…。そんな人に向けて、古今東西の偉人たちの名言やことわざと、「イソップ寓話」の話を同時に紹介しながら、幸福な人生を送るために不可欠な「成心学」のノウハウを、簡潔・明解に説く。

2020:4./ 223p
978-4-7593-1703-9
本体 ¥1,300+税

産経新聞 2020/06/07



いつになったら宇宙エレベーターで月に行けて、3D プリンターで臓器が作れるんだい!? 〜気になる最先端テクノロジー10のゆくえ〜

Zach Weinersmith/Kelly Weinersmith 著
化学同人

ニュースに出てきたあの科学技術はホントに実現できるのか、どこまで進んでいるのか、何が障害になっているかを詳細な解説とシュールな漫画で紹介した、愉快的な科学読み物。宇宙エレベーターの3D画像が見られるQRコード付き。

2020:3./ 407p
978-4-7598-2035-5
本体 ¥2,800+税

産経新聞 2020/06/07



日本の偉人物語<5> 中江藤樹 高杉晋作 明治天皇

岡田 幹彦 著
光明思想社

「近江聖人」と敬われた中江藤樹、「真の維新三傑」と呼ばれた高杉晋作、世界から賞賛された明治天皇。日本人の手本となる3人の偉人の生き方や考えを描く、著者渾身の偉人伝。

2020:5./ 3p,250p
978-4-86700-003-8
本体 ¥1,296+税

産経新聞 2020/06/07



ぼくは犬や

ベク・ヒナ 著
ブロンズ新社

ひとは、ぼくをグスリと呼ぶんや。パンウリというおかあちゃんから、4番目にうまれたんが、ぼくや。おっぱいから離れたとき、ここにやってきて…。2018年刊「あめだま」のグスリとドンドンの小さい頃のおはなし。

2020:4./ 1冊(ページ付なし)
978-4-89309-673-9
本体 ¥1,400+税

産経新聞 2020/06/07



荷風と戦争〜断腸亭日乗に残された戦時下の東京〜

百足光生 著
国書刊行会

戦争、世相、食糧事情、風俗譚、文学活動と多岐にわたる視点で甦らせた東京のあの頃…。作家永井荷風の「断腸亭日乗」の昭和15年から20年3月までの記録を元に、戦時下の東京を描き尽くす。

2020:3./ 435p
978-4-336-06573-5
本体 ¥3,600+税

産経新聞 2020/06/07、日本経済新聞 2020/06/13



アロハで猟師、はじめました

近藤 康太郎 著

河出書房新社

獣害に苦む近隣農家に乞われ始めた猟師生活。そこには、この社会から“ばっくれて生きる”ための知恵が詰まっていた！ これからの「世界」と「生きること」を考えた七転八倒のドキュメント。『朝日新聞』連載を元に書籍化。

2020/5/ 236p

978-4-309-02887-3

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2020/06/13



ひろ葉帽子の下で〜山尾三省詩集〜 新版

山尾 三省 著

野草社

詩あるいは歌は絶望に耐える希望あるいは祈りとして太古以来つくられ続けてきた。日常の中で非日常的な時をつづった詩人・山尾三省の詩集。文化人類学者・今福龍太の序も収録。1987年刊の新版。

2020/2/ 371p

978-4-7877-2081-8

本体 ¥2,600+税



産経新聞 2020/06/13



今日から塾をやめてみた〜マンガでわかる〜

宝槻泰伸 著

主婦の友社

子どもが自ら学び始めるために親はどのような働きかけをすればよいのかをマンガでわかりやすく解説。わが子を「食べていける幸せな大人」にする、塾では教えてくれないこれからの学力の身につけ方。

2020/4/ 189p

978-4-07-442005-6

本体 ¥1,300+税



産経新聞 2020/06/14



韓国人、韓国を叱る〜日韓歴史問題の新証言者たち〜(小学館新書 369)

赤石 晋一郎 著

小学館

韓国でいま何が起きているのか。経済学者、徴用工被害者団体代表、元慰安婦支援活動家など多くの韓国人を訪ね、なぜ問題が拗れ続けるのかを彼らの言葉から解き明かした書。韓国の不都合な真実を、韓国人みずから証言する。

2020/4/ 237p

978-4-09-825369-2

本体 ¥820+税



産経新聞 2020/06/14



木になった亜沙

今村 夏子 著

文藝春秋

誰かに食べさせたい。願いがかなって杉の木に転生した亜沙は、わりばしになって若者と出会い…。奇妙で不穏で純粋な、3つの愛の物語を収録する。『文藝春秋』ほか掲載を単行本化。

2020/4/ 155p

978-4-16-391191-5

本体 ¥1,200+税



産経新聞 2020/06/14



寂庵コレクション<Vol.2> あなたは、大丈夫

瀬戸内 寂聴 著

光文社

1987年から2017年まで、31年間続いた会員向け月刊新聞『寂庵だより』を書籍化。『寂庵だより』で不動の人気だった人生相談をたっぷり収録する。宮沢りえとのスペシャル対談も掲載。

2020/4/ 219p

978-4-334-95161-0

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2020/06/14



映画と演劇ポスターデザインワークの50年〜知られざる仕事師の全仕事〜

小笠原 正勝 著

誠文堂新光社

ポスターとは、映画・演劇を1枚の紙に表現した、いわば「紙の劇場」。映画ポスターデザインの第一人者・小笠原正勝が手掛けたポスター約500点をジャンル、時代ごとに掲載し、映画ポスターにまつわるエピソードを収録する。

2020/4/ 319p

978-4-416-52031-4

本体 ¥4,000+税



産経新聞 2020/06/14



官邸コロナ敗戦〜親中政治家が国を滅ぼす〜

乾正人 著

ビジネス社

「中国包囲網」を画策した稀代の外交官は去った。日本初の感染者が発見されてから、一斉休校要請までの空白の42日間からはじめ、なぜ安倍政権はコロナの初動で失敗し「緊急事態宣言」にまで追い込まれたのかを明かす。

2020/5/ 221p

978-4-8284-2182-7

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2020/06/14



子どもが変わるドラマのセリフもっと話がうまくなる

丹野 清彦 著

高文研

魅力的で相手を引きつける話し方のコツは、ドラマや映画のセリフを上手く活用することにある! 「子どもが変わる話し方」「子どもに話させる話術」などについて、話し方のポイントとスピーチモデルで伝授する。

2020/4/ 191p

978-4-87498-718-6

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2020/06/14



仕事本〜わたしたちの緊急事態日記〜

尾崎 世界観／町田 康／花田 菜々子 著

左右社

ひとつの仕事は誰かの生活につながり、その生活がまた別の人の仕事を支えている! パン屋、内科医、校長など、緊急事態宣言が出される中、コロナにも負けず働いていた様々な職業の人たち77人の2020年4月の日記を収録。

2020/6/ 446p

978-4-86528-283-2

本体 ¥2,000+税



産経新聞 2020/06/20



うめももさくら

石田香織 著

朝日新聞出版

運送会社で手取り14万円で働くママ。ある事情で離婚するも、給料は変わらず。子どもたちは順調に育つ一方、家賃、借金の返済にお金は消えていく。ママは誰にも助けてと言えず…。全力で生きるすべての「ママ」におくる物語。

2020/5/ 262p

978-4-02-251680-0

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2020/06/21



感染を恐れない暮らし方〜新型コロナからあなたと家族を守る医食住50の工夫〜

本間 真二郎 著

講談社

もっとも大切なことは「免疫力」と「自然治癒力」を生活のなかで高めていくこと。ウイルス学研究者の自然派医師が実践する、自然に沿った暮らし方で感染を遠ざけ、万一感染しても追い出す力を備える医食住のヒントを伝える。

2020/6/ 239p

978-4-06-520424-5

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2020/06/21



持続可能な魂の利用

松田 青子 著

中央公論新社

無職になった 30 代の敬子は、男社会の闇を味わうも、心は裏腹に男が演出する女性アイドルにはまってしまう。敬子は思いがけずこの国の“地獄”を変える“賭け”に挑むことに。『アンデル 小さな文芸誌』他連載を単行本化。

2020.5./ 240p

978-4-12-005306-1

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2020/06/21



兄の終い

村井 理子 著

CCCメディアハウス

警察署からの電話で兄の死を知った。周りに迷惑ばかりかける人だった。体を壊し、職を失い、貧困から這いあがることなく死んだ兄を弔うために、元妻、息子、妹である私が集まり…。怒り、泣き、ちょっと笑った 5 日間の実話。

2020.4./ 169p

978-4-484-20208-2

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2020/06/21



ふだん着の寺田寅彦

池内 了 著

平凡社

あきれほどの甘いものの好き。胃を悪くしてもやめられぬ煙草、コーヒー。子どもへの暑苦しいまでの心配癖…。寺田寅彦の背中を追ってきた宇宙物理学者が、彼の友人・家人らの回想録などをもとに、寅彦のとおき姿を描く。

2020.5./ 285p

978-4-582-83841-1

本体 ¥2,500+税



産経新聞 2020/06/21



アニメの詩人ノルシュテイン

兄島 宏子 著

垣内出版

「霧の中のハリネズミ」「話の話」「アオサギとツル」など、日本でも愛され続けるロシアのアニメーションの巨匠ノルシュテイン。その人生と作品を、30 年近くも公私にわたりノルシュテインと対話を重ねてきた通訳者が描く。

2020.4./ 160p

978-4-7734-2037-1

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2020/06/21



わたしたちのカメムシずかん〜やっかいものが宝ものになった話〜(たくさんのふしぎ傑作集)

鈴木海花 著

福音館書店

校長先生の一言から、臭くてやっかいもののカメムシを調べ始めた子どもたちは…。カメムシを最新の研究を基にわかりやすく紹介。「わたしのずかん」シート付き。『月刊たくさんのふしぎ』から生まれた、実話をもとにした絵本。

2020.5./ 39p

978-4-8340-8552-5

本体 ¥1,300+税



産経新聞 2020/06/21



ドイツ軍攻防史～マルヌ会戦から第三帝国の崩壊まで～

大木毅 著

作品社

勝利と敗北を分かちつものは何か？ 前線指揮官の苦悩と参謀本部の錯誤、砲兵戦術の革新、ティーガー戦車等新兵器の運用-。第 1 次から第 2 次大戦まで、戦いのターニングポイントを、ドイツ軍事史の第一人者が詳細に検討する。

2020.5./ 331p

978-4-86182-807-2

本体 ¥2,700+税



産経新聞 2020/06/21



食っちゃ寝て書いて

小野寺 史宜 著

KADOKAWA

作家の横尾成吾はここ数年、鳴かず飛ばずの状態が続いていた。ずっと一人で生きてきた横尾は、今後の身の振り方を考えはじめる。一方、横尾の新しい担当・井草菜種は、自身同様長く停滞中の横尾と本気で向き合いはじめ...

産経新聞 2020/06/28

2020.5./ 294p

978-4-04-109205-7

本体 ¥1,700+税



ルポ老人受刑者

斎藤 充功 著

中央公論新社

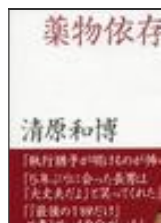
増加する高齢の受刑者たち、福祉施設化する刑務所。彼らは刑務所を安住の地としなければならないのか。受刑者・出所者の生の声、刑務所・更生保護施設への現場取材を通して、漂流する老人たちの現実をさぐったルポルタージュ。

産経新聞 2020/06/28

2020.5./ 212p

978-4-12-005303-0

本体 ¥1,500+税



薬物依存症

清原 和博 著

文藝春秋

何度も死にたいと思いました...。覚醒剤取締法違反による逮捕から4年。執行猶予満了を迎えた清原が、薬物依存の怖さ、うつ病との戦い、家族への想いを語る。

産経新聞 2020/06/28

2020.6./ 222p

978-4-16-391228-8

本体 ¥1,500+税



歴史秘話 外務省研修所～知られざる歩みと実態～(光文社新書 1064)

片山 和之 著

光文社

少子高齢化という難題を抱え、国力の相対的な地位低下が不可避な情勢の中、日本が国際社会で生き残っていくには。華やかな外交の表舞台の対極に位置する研修所の意義と役割を見直し、日本外交の将来のパフォーマンスを考える。

産経新聞 2020/06/28

2020.5./ 227p

978-4-334-04434-3

本体 ¥800+税



おれの眼を撃った男は死んだ

シャネル・ベンツ 著

東京創元社

暴力と欲望に満ちたさまざまな時代と場所で、夢も希望もなく、血まみれで生きる人々。人間の本質を暴き出し、一瞬の美しさを切り取った、O・ヘンリー賞受賞作「よくある西部の物語」ほか全10編を収録した短編集。

産経新聞 2020/06/28

2020.5./ 311p

978-4-488-01103-1

本体 ¥2,200+税



流星シネマ

吉田篤弘 著

角川春樹事務所

都会のへりの窪んだところにあるガケ下の町。僕はその町で<流星新聞>を発行するアルフレッドの手伝いをしている。個性的で魅力的な人々が織りなす、静かであたたかな物語。優しい物語の名手による長編小説。

産経新聞 2020/06/28

2020.5./ 260p

978-4-7584-1349-7

本体 ¥1,600+税





最後の湯田マタギ〜黒田勝雄写真集〜

黒田 勝雄 著

藤原書店

奥羽山系の懷に抱かれた雪深き山里、岩手県西和賀郡湯田町で、シン(熊)獲りを続けてきたマタギたち。20 年間湯田に通い、「最後」のマタギたちの狩猟の現場を撮影し、マタギの里の暮らしや民俗に迫った黒田勝雄の写真集。

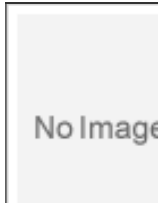
2020:5./ 143p

978-4-86578-271-4

本体 ¥2,800+税



産経新聞 2020/06/28



世界の十大小説<上>(岩波文庫 赤 254-4)

W.S.モーム 著

岩波書店

イギリスの作家モームが、世界文学のなかから小説 10 篇を選び、その作者と作品について実作者の視点から論じたユニークな文学論。高慢と偏見、赤と黒、戦争と平和など。

2015:5./ 316p

978-4-00-322544-8

本体 ¥780+税



朝日新聞 2020/06/06



5G〜次世代移動通信規格の可能性〜(岩波新書 新赤版 1831)

森川 博之 著

岩波書店

第 5 世代移動通信システム(規格)5G。その技術的特徴・潜在力はどこにあるのか。私たちの生活はどう変わるか。どう使えばよいか。米中の激しい主導権争いの深層には何があるのか。第一人者がさまざまな疑問に答える。

2020:4./ 5p,249p

978-4-00-431831-6

本体 ¥860+税



朝日新聞 2020/06/06



メメント・モリ(岩波現代文庫 文芸 324)

原田 宗典 著

岩波書店

長年にわたる鬱病がもたらした煩悶、終わりのみえないスランプ、不倫相手との訴訟沙汰、家庭崩壊、自殺未遂、そして違法薬物使用による逮捕…。死の淵より舞い戻り、火宅の人たる自身の半生を小説的真實として描く。

2020:5./ 3p,206p

978-4-00-602324-9

本体 ¥980+税



朝日新聞 2020/06/06



タコの知性〜その感覚と思考〜(朝日新書 761)

池田 譲 著

朝日新聞出版

地球上で最も賢い生物の一種である「タコ」。注目の「タコ学」研究者が、タコの社会性、感情・愛情表現など知られざる知性を解説。通説を覆す最新知見を提示しつつ、生物の神秘や知性の奥深さを探る。

2020:4./ 247p

978-4-02-295066-6

本体 ¥810+税



朝日新聞 2020/06/06



「自閉症」の時代(講談社現代新書 2574)

竹中 均 著

講談社

スティーブ・ジョブズ、新海誠、ファンタジーとゲーム、伊藤若冲、GAFA…。過去の偉人たちや文化や社会を「自閉症」の視点から紹介するとともに、21 世紀という時代そのものの「自閉症的傾向」を明らかにする。

2020:5./ 269p

978-4-06-519706-6

本体 ¥940+税



朝日新聞 2020/06/06



音楽が聴けなくなる日(集英社新書 1023)

宮台 真司、永田 夏来、かがり はるき 著

集英社

電気グルーヴのピエール瀧が麻薬取締法違反容疑で逮捕された翌日、レコード会社は全ての音源・映像を「自粛」した。その「自粛」は何のため、誰のためか。現代社会における音楽・薬物・自粛の在り方について考察する。

朝日新聞 2020/06/06

2020.5./ 215p

978-4-08-721123-8

本体 ¥820+税



月と六ペンス(新潮文庫 モ-5-5)

サマセット・モーム 著

新潮社

ロンドンで、仕事、家庭と何不自由ない暮らしを送っていた男がある日、忽然と行方をくらませた。40 をすぎた男が、すべてを捨てて挑んだこととは…。天才画家の情熱の生涯を描き、正気と狂気が混在する人間の本性に迫る。

朝日新聞 2020/06/06

2014.4./ 378p

978-4-10-213027-8

本体 ¥630+税



カラスは飼えるか

松原 始 著

新潮社

カラスってやっぱりおもしろい！鷹の速さやフクロウの平たい顔の秘密、恐竜との関係や天候不順にどう対応しているかなど、身近な鳥の秘密に迫りつつ、カラスの生態やポイントを、あますところなく伝える。カラス情報も収録。

朝日新聞 2020/06/06

2020.3./ 223p

978-4-10-353251-4

本体 ¥1,400+税



惚れるマナー

柴崎 友香／ねじめ 正一／島本 理生 著

中央公論新社

マナーの難問が大人を磨く！人の家のトイレのマナーから、おばちゃんのマナー、聞き上手のマナー、物忘れのマナーまで。芸人や作家が日常の小さな悩みと格闘するエッセイ集。『読売新聞』火曜夕刊掲載を単行本化。

朝日新聞 2020/06/06

2020.3./ 245p

978-4-12-005278-1

本体 ¥1,500+税



現代中国ゼミナール～東大駒場連続講義～

東大社研現代中国研究拠点 編

東京大学出版会

一帯一路、香港問題、米中経済摩擦…。気鋭の中国研究者が、現在の中国の変化を理解する上で重要な視点をわかりやすく解説する。2018 年度秋学期に東京大学で開講された連続講義の記録。

朝日新聞 2020/06/06

2020.5./ 6p,256p

978-4-13-023076-6

本体 ¥2,700+税



プラスチック・フリー生活～今すぐできる小さな革命～

シャンタル・プラモンドン、ジェイ・シンハ、服部 雄一郎 著

NHK出版

使い続けても本当に安全？15種類のプラスチックを添加されている化学物質と共に徹底解説し、プラスチックの日用品を8割近く減らす簡単な行動や様々な代替品について紹介する。<プラスチック・フリー生活>の入門ガイド。

朝日新聞 2020/06/06

2019.5./ 300p

978-4-14-081778-0

本体 ¥2,000+税





その日の後刻に(文春文庫 む 5-38)

グレイス・ペイリー 著

文藝春秋

アメリカ文学シーンのカリスマ的存在として現在も尊敬を集める作家の最後の短篇集を村上春樹が翻訳。「庭の中で」「物語を聴く人」など全 17 篇のほか、エッセイ、貴重なロングインタビューも併録する。

2020.5./ 380p

978-4-16-791501-8

本体 ¥820+税



朝日新聞 2020/06/06



この国の不寛容の果てに～相模原事件と私たちの時代～

雨宮 処凛、神戸 金史 著

大月書店

生産性、自己責任、一人で死ぬ…。不寛容な言葉に溢れたこの国で、「障害者是不幸しか作らない」という線引きによって、男は 19 人の障害者を殺した。命をめぐる対話集。テキストデータの提供サービス付き。

2019.9./ 271p

978-4-272-33097-3

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2020/06/06



おかえり台湾～食べて、見て、知って、感じる 一歩ふみ込む二度目の旅案内～

池澤 春菜、高山 羽根子 著

インプレス

声優・池澤春菜と作家・高山羽根子が、台湾の地元っ子しか知らないディープな露店、最新アートのスポット、最前線の書店や映画、いきつけ茶藝館をガイド。Google Map の QR コード付き。データ:2020 年 4 月現在。

2020.5./ 157p

978-4-295-00867-5

本体 ¥1,680+税



朝日新聞 2020/06/06



そして、みんなバカになった(河出新書)

橋本 治 著

河出書房新社

日本はなぜこんな国になったのか、そしてこの先、どうなるのか? 橋本治が 2000 年代に残した貴重なインタビュー。日本、教養、老い、読書など、ひたすら自分の頭で考え続けた橋本治から、本当の教養とは何かを学ぶ。

2020.4./ 237p

978-4-309-63119-6

本体 ¥840+税



朝日新聞 2020/06/06



日本国紀

百田 尚樹 著

幻冬舎

神話とともに誕生し、万世一系の天皇を中心に、独自の発展を遂げてきた日本。2000 年以上にわたる国民の歴史と激動にみちた国家の変遷を、「古事記」「日本書紀」をはじめ、多くの史書を参考に記した壮大なる叙事詩。

2018.11./ 509p

978-4-344-03385-6

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2020/06/06



チョンキンマンションのボスは知っている～アングラ経済の人類学～

小川 さやか 著

春秋社

一攫千金を夢見て香港に集まるタンザニア人。彼らのセーフティネット、信用システム、シェア経済とは? 既存の制度に期待しない人々の生き様と経済のしくみを読み解く。『ウェブ春秋はるとあき』連載をもとに単行本化。

2019.7./ 273p

978-4-393-33371-6

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2020/06/06



現代アートをたのしむ～人生を豊かに変える 5つの扉～(祥伝社新書 599)

原田 マハ／高橋 瑞木 著

祥伝社

東京・森美術館設立準備室で、ともに日々を過ごした旧知のふたりが、あなたと現代アートとの「距離を縮める」ために、アーティストや各地の美術館、展覧会を案内する。わからないが面白いに変わる、現代アートのガイドンス。

2020:5./ 284p

978-4-396-11599-9

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2020/06/06



まんが訳酒呑童子絵巻(ちくま新書 1493)

大塚 英志、山本 忠宏 編

筑摩書房

コマを割って絵巻物がまんがに! 武家源氏の始祖・源頼光の活躍を描く「酒呑童子絵巻」の他、「道成寺縁起」「土蜘蛛草子」と解説 3 編を収録。室町時代から日本人に愛されてきた物語が、まんがでよみがえる。

2020:5./ 222p

978-4-480-07315-0

本体 ¥980+税



朝日新聞 2020/06/06



現代アメリカ政治外交史～「アメリカの世紀」から「アメリカ第一主義」まで～(Minerva Modern History 2)

青野 利彦／倉科 一希／宮田 伊知郎 編

ミネルヴァ書房

戦後アメリカの歴代政権はいかなる政治を展開したのか。各政権ごとに大統領の伝記的事績を辿り、内政と外交の連動性や、その時代の歴史的な位置づけなどを浮かび上がらせる。人種・移民などの観点から社会の変動をとらえる。

2020:5./ 20p,362p,8p

978-4-623-08809-6

本体 ¥3,200+税



朝日新聞 2020/06/06



フィフティ・ピープル(となりの国のものがたり 01)

チョン セラン、斎藤 真理子 著

亜紀書房

ガンで余命宣告を受けた母に結婚を急かされるスジョン。血みどろの手術に嬉々として挑む医師ギユン…。死と痛みと悲しみ、回復と再生の物語がすれ違い、交錯する。韓国文学をリードする若手作家による、めくるめく連作短編集。

2018:9./ 485p

978-4-7505-1564-9

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2020/06/06



五十八歳、山の家で猫と暮らす

平野 恵理子 著

亜紀書房

母を亡くして始めた山での暮らし。虫との邂逅、鳥の来訪、庭造り、厳冬ならではの妙。人気イラストレーター・平野恵理子が、四季を追いかけながら、ひっそり愉快地、ひとりを楽しむ日々を綴る。

2020:3./ 223p 図版 16p

978-4-7505-1639-4

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2020/06/06



篠原栄太のテレビタイトル・デザイン

篠原 栄太 著

グラフィック社

テレビ黎明期より数々の名作タイトルを手がけてきた名匠・篠原栄太の仕事を一挙公開。彼によるテレビタイトルロゴ作品およびそのデザインについての論考を、これまでに発表してきた出版物から再録、再構成し書籍化。

2020:2./ 255p

978-4-7661-3392-9

本体 ¥2,100+税



朝日新聞 2020/06/06



ギター・ブギー・シャッフル(韓国文学セレクション)

イ・ジン 著

新泉社

1960 年代初頭のソウル。戦争で孤児となったキム・ヒョンは、偶然の積み重ねで、龍山米軍基地内のクラブステージにギタリストとして立つことに。K-POP のルーツである 60 年代音楽シーンの熱気と混沌を鮮やかに描く。

2020:3./ 252p

978-4-7877-2022-1

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2020/06/06



進化する里山資本主義

ジャパントイムズ出版

マネー資本主義のアンチテーゼとして、里山資本主義が提唱されてから 7 年。実践者たちへの取材をもとに、各地の里山資本主義の成功要因を明らかにする。人と人とのつながりによって地域活性化を目指す人たちのガイド。

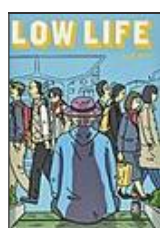
2020:5./ 328p

978-4-7890-1763-3

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2020/06/06



LOW LIFE(MeDu COMICS)

大嶋 宏和 著

ジーオーティー

朝日新聞 2020/06/06

2020:4./ 206p

978-4-8236-0050-0

本体 ¥900+税



もう一つ上の日本史～『日本国紀』読書ノート～<古代?近世篇>

浮世 博史 著

幻戯書房

「社会科学としての歴史学」とは何か。教科書の記述はなぜ変わるのか。現在の書籍やウェブ上に蔓延する日本史俗説を豊富な資料で徹底解説。著者のブログ全 227 回分を加筆し書籍化。古代?近世篇は第 1?102 回を収録。

2020:2./ 432p

978-4-86488-191-3

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2020/06/06



もう一つ上の日本史～『日本国紀』読書ノート～<近代?現代篇>

浮世 博史 著

幻戯書房

「社会科学としての歴史学」とは何か。教科書の記述はなぜ変わるのか。現在の書籍やウェブ上に蔓延する日本史俗説を豊富な資料で徹底解説。著者のブログ全 227 回分を加筆し書籍化。近代?現代篇は第 103?227 回を収録。

2020:3./ 505p

978-4-86488-192-0

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2020/06/06



英語日記 BOY～海外で夢を叶える英語勉強法～

新井 リオ 著

左右社

お金がなくても英語は身につく! 英語日記を書き続けて、英語が話せるようになった著者が、英語が話せるようになる考え方や勉強法、実際にどのように英語を使っているかを具体的に紹介する。

2020:1./ 227p

978-4-86528-263-4

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2020/06/06



ボーイズ 男の子はなぜ「男らしく」育つのか

レイチェル・ギーザ 著

DU BOOKS

今、男の子の育て方に何が起きているのか？ 男子限定の性教育授業や少年スポーツリーグへの取材、トランスジェンダーの子どもをもつ親たちとの対話等を通して、現代のリアルな「男の子」に切り込む。

2019:3./ 335p,36p

978-4-86647-088-7

本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2020/06/06



鉄筆とピラ〜「立高紛争」の記録 1969-1970〜

都立立川高校「紛争」の記録を残す会 編

同時代社

「立高」のバリケード闘争とは、なんだったのか。1969 年 10 月にバリケード封鎖が行われた都立立川高校の、紛争の全体像を生徒側・教員側の見方や資料も含めて振り返る。50 年後の「今」の思いなども収録。

2020:3./ 205p

978-4-88683-871-1

本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2020/06/06



ドレス(河出文庫 ふ 18-2)

藤野 可織 著

河出書房新社

些細なようで切実な“決めつけ”や“締めつけ”のなかを生きる女性たち。ドローンへのはかない初恋、夫の命と引き換えに子を成す夫婦…。たまらなく不穏で洗練された格別の 8 篇を収める、心?んで離さないフェミニズム短編集。

2020:5./ 233p

978-4-309-41745-5

本体 ¥850+税



朝日新聞 2020/06/06、読売新聞 2020/06/07



失われたいくつかの物の目録

ユーディット・シャランスキー 著

河出書房新社

過ぎ去りしものをつなぎ止め、忘却をくい止めるための方法はじつに多様だ。海に沈んだツアナキ島、絶滅種カスピトラ、キナウの月面図…。自然、歴史、文学の魅力を詰めこんだ、「喪失」をめぐる 12 の物語。

2020:3./ 260p

978-4-309-20794-0

本体 ¥2,900+税



朝日新聞 2020/06/06、日本経済新聞 2020/06/06



建築の東京

五十嵐 太郎 著

みすず書房

平成から令和へ。オリンピックを前に東京はいかに変貌したか？ 近過去に登場した建築=景観、丹下健三・岡本太郎以後の建築家・アーティスト双方による東京計画・未来都市の系譜、メディアのなかの東京について検証する。

2020:4./ 228p

978-4-622-08895-0

本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2020/06/06、日本経済新聞 2020/06/13



夢十夜〜他二篇〜(ワイド版岩波文庫)

夏目 漱石 著

岩波書店

あの通りの眉や鼻が木の中に埋っているのを、鑿と槌の力で掘り出すまでだ…。荒涼たる孤独に生きた漱石の最暗部が濃密に形象化された「夢十夜」のほか、「文鳥」「永日小品」を収める。

2007:1./ 187p

978-4-00-007280-9

本体 ¥900+税



朝日新聞 2020/06/13



エゴ・ドキュメントの歴史学

長谷川 貴彦 編

岩波書店

一人称で綴られた史料への関心やその扱い方は、フェミニズム、文学理論等の影響を受けながら大きく変容を遂げてきた。魔女裁判の告白書、遊女の日記、前線兵士の手紙など、多彩なエゴ・ドキュメントを新たな文脈で読み解く。

2020/3./ 9p,273p

978-4-00-022303-4

本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2020/06/13



人生の1冊の絵本(岩波新書 新赤版 1828)

柳田 邦男 著

岩波書店

絵本には、幼き日の感性の甦りが、こころのもち方の転換が、いのちの物語が、人を見つめる木々の記憶が、そして祈りの静寂がある。約 150 冊の絵本を解説しながら、その魅力を綴る。

2020/2./ 6p,338p,3p

978-4-00-431828-6

本体 ¥980+税



朝日新聞 2020/06/13



あさになったのでまどをあけますよ

荒井 良二 著

偕成社

なにげない日々の繰り返し。そのなかにこそある、たしかかな希望。生きることのよろこび。きみのまちは、晴れてるかな? 大気にみなぎる光と気配、風景の力を描いた絵本。

2011/12./ 32p

978-4-03-232380-1

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2020/06/13



いじめを本気でなくすには

阿部 泰尚 著

KADOKAWA

無責任な大人たちが被害を加速させている。SNS の普及で深く潜り込み、巧妙化する現代のいじめに、私たちができることは何か。6000 件超の相談を無償で受けてきたいじめ探偵が本気で対策を考える。

2020/4./ 226p

978-4-04-108786-2

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2020/06/13



最初の質問(講談社の創作絵本)

長田 弘、いせ ひでこ 著

講談社

今日、あなたは空を見上げましたか。空は遠かったですか、近かったですか。詩人・長田弘の代表作のひとつに、画家・絵本作家のいせひでこの美しい絵をつけた絵本。繰り返される問いかけが深い思索へと誘う。

2013/7./ 28p

978-4-06-132523-4

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2020/06/13



変なおじさん(新潮文庫)

志村けん 著

新潮社

子供の頃、コメディアンになろうと思い、ドリフの付き人から『全員集合』『加トケン』『だいじょうぶだあ』『バカ殿様』とお笑い一直線。そんな僕の人生をちょっとだけふり返ってみたヨ。

2002/9./ 355p

978-4-10-136031-7

本体 ¥670+税



朝日新聞 2020/06/13



「関ヶ原」の決算書(新潮新書 859)

山本 博文 著

新潮社

金がなければ戦はできぬ! 天下分け目の合戦の際、東西両軍で動いた金は総額いくらになるのか? 日本史上の大転換点である関ヶ原合戦を、お金の面から深掘りし、知られざる歴史の新常識を浮かび上がらせる。

朝日新聞 2020/06/13

2020.4./ 252p

978-4-10-610859-4

本体 ¥800+税



博士を殺した数式(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 478-1)

ノヴァ・ジェイコブス 著

早川書房

ヘイゼルのもとに、極秘の“方程式”をある人物に届けてほしいという養祖父の遺書が届き…。数学の世界に放り込まれた素人探偵が方程式をめぐる殺人事件に翻弄されつつ、祖父の死の真相に迫る暗号謎解きミステリ。

朝日新聞 2020/06/13

2020.6./ 429p

978-4-15-184101-9

本体 ¥1,180+税



ピュア

小野 美由紀 著

早川書房

女性が男性を食べないと妊娠できない。そんな変わり果てた世界で、普通の女の子として生きるユミは…。表題作をはじめ、「バースデー」「幻胎」など全 5 編を収録。『SF マガジン』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

朝日新聞 2020/06/13

2020.4./ 219p

978-4-15-209935-8

本体 ¥1,700+税



ナッジ!?～自由でおせっかいなリバタリアン・パターナリズム～

那須 耕介／橋本 努 編

勁草書房

ナッジという技法とその背後にあるリバタリアン・パターナリズムの思想の意義と問題点を、思想史的な来歴と今日の理論的達成、そして将来への実践的展望という 3 つの柱を軸に考察する。

朝日新聞 2020/06/13

2020.5./ 5p,256p

978-4-326-55084-5

本体 ¥2,500+税



運命の八分休符(創元推理文庫 M れ 1-3)

連城 三紀彦 著

東京創元社

心優しき落ちこぼれ青年・軍平は、度々事件にまきこまれては、素人探偵として奔走する羽目に…。殺人の容疑をかけられたモデルを救うためアリバイ崩しに挑む表題作など、5 人の女性をめぐる 5 つの短編を収録する。

朝日新聞 2020/06/13

2020.5./ 283p

978-4-488-49813-9

本体 ¥780+税



めをとじてみえるのは(評論社の児童図書館・絵本の部屋)

評論社

ベッドに入る時間だけど、パパに聞きたいことがいっぱい! どうして海は青いの? どうして鳥は南に飛んでいくの? さあ、パパは、なんと答えてくれるでしょう? おやすみ前のすてきなお話。

朝日新聞 2020/06/13

2019.7./ 40p

978-4-566-08049-2

本体 ¥1,600+税





徳川秀忠(人物叢書 新装版 通巻 303)

山本 博文 著
吉川弘文館

武功がないことにコンプレックスを抱きながらも、幕府の支配を盤石にした第2代将軍・徳川秀忠。年寄による合議制や大名統制、鎖国政策の方向付けなど、彼独自の政策や政治手腕を分析し、その人物像に迫る。

2020:3./ 15p,286p
978-4-642-05296-2
本体 ¥2,200+税

朝日新聞 2020/06/13



100年たったら

アリス館

ずっと昔、ライオンが広い草原にひとりっきりで住んでいた。ある日、飛べなくなった一羽の鳥が草原におりたち、いっしょに過ごすようになるが…。ライオンと鳥がたどる、はるかな時と巡る命を描いた、せつなく壮大な物語。

2018:11./ 32p
978-4-7520-0856-9
本体 ¥1,500+税

朝日新聞 2020/06/13



殺人都市川崎(ハルキ文庫 う10-1)

浦賀和宏 著
角川春樹事務所

出会ったら命がないと言われている、伝説の殺人鬼・奈良邦彦。俺の本当の地獄は、あいつとの出会いから始まった。彼女を、そして両親を殺された俺は、それから執拗に奈良に狙われ続け…。41歳で急逝した著者の最後の小説。

2020:5./ 245p
978-4-7584-4337-1
本体 ¥640+税

朝日新聞 2020/06/13



水ハレ峠～ダムに沈んだ徳山村百年の軌跡～

大西 暢夫 著
彩流社

映画『水になった村』監督が描く、ダムに沈んだ岐阜県徳山村 100 年の軌跡。最後の一人であった女性(ババ)の語りをまとめ、血をつなぐための彼らの驚くべき道のりをたどる。

2020:4./ 269p
978-4-7791-2643-7
本体 ¥1,900+税

朝日新聞 2020/06/13



デザインの自然学～自然・芸術・建築におけるプロポーション～ 新々・新装版

ジョージ・ドーチ 著
青土社

生命あるものが、何故にかくまでも美しく存在するのか…。その疑問を、恐竜・クジラから犬まで、多彩な花々と草木、チョウや昆虫、そして魚や貝殻など、多種多様の形態を見比べ、独自の手法によって探究する。

2020:4./ 158p
978-4-7917-7274-2
本体 ¥3,700+税

朝日新聞 2020/06/13



志村流～当たり前のことが出来れば、仕事も人生も絶対に成功する～(王様文庫)

志村 けん 著
三笠書房

朝日新聞 2020/06/13

2005:1./ 210p
978-4-8379-6275-5
本体 ¥619+税



名著から学ぶ創作入門～優れた文章を書きたいなら、まずは「愛しきものを殺せ！」～

ロイ・ピーター・クラーク 著

フィルムアート社

アリストテレスからウィリアム・ジンサーまで。40年にわたり文章術の指導をしてきた専門家、ロイ・ピーター・クラークが、文筆にまつわる名著50点以上を厳選して引用し、読むことや書くことについてわかりやすく解説する。

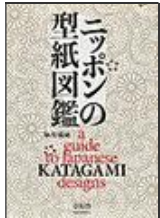
2020.5./ 334p

978-4-8459-1924-6

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2020/06/13



ニッポンの型紙図鑑

加茂瑞穂 著

青幻舎

株式会社キョーテックによる18000点もの型紙コレクションから約180枚を厳選。「正月」「梅」など季節に関わるテーマから「縞」「唐草」などベーシックな文様まで、62の題材をもとに丁寧な解説文付きで紹介する。

2020.4./ 335p

978-4-86152-775-3

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2020/06/13



目撃天安門事件～歴史的民主化運動の真相～

加藤 青延 著

PHPエディターズ・グループ

1989年に中国で起きた民主化運動の武力鎮圧事件「天安門事件」。中国政府が偽り続ける死者数、誇張されて伝えられた胡耀邦の死…。当時、最前線で取材したNHK特派員が、衝撃の現場を初めて明かす。

2020.4./ 234p

978-4-909417-46-6

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2020/06/13



天才の考え方～藤井聡太とは何者か？～

渡辺 明／加藤 一二三 著

中央公論新社

「直感 95%」のひふみんと、「AI」を駆使する現役最強棋士・渡辺明が、天才たちの頭の中を考察。大山康晴から藤井聡太まで、昭和から令和の棋士を分析する。2人の対談「アナログ思考 vs. AI 思考」も収録。

2020.4./ 219p

978-4-12-005297-2

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2020/06/13、毎日新聞 2020/06/20



破戒(ワイド版岩波文庫)

島崎 藤村 著

岩波書店

新しい思想を持ち、人間主義的教育によって不合理な社会を変えて行こうとする被差別部落出身の小学校教師瀬川丑松は、ついに自らの出自を告白。丑松の烈しい苦悩を通して、藤村が四民平等は名目だけの明治文明に鋭く迫る。

2006.6./ 440p

978-4-00-007270-0

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2020/06/20



二週間の休暇 新装版

フジモト マサル 著

講談社

「鳥の国」にあなたを招待したい」「でも私には仕事がある」「あなたのやっている仕事は他の誰にだってできるから大丈夫」逃げ出したいくなっているあなたは、きっと誘い込まれる…。給水塔占いと、穂村弘の解説を加えて復刊。

2016.3./ 99p

978-4-06-220002-8

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2020/06/20



村上春樹の世界(講談社文芸文庫 か P6)

加藤 典洋 著

講談社

文芸評論家としてのキャリアのなかで、一貫して村上春樹作品へ強い関心を寄せていた著者。多様な角度から作品群に向き合い、その真価に迫る村上春樹論集。没後発表された遺稿「第二部の深淵」を収録する。

2020:5./ 379p

978-4-06-519656-4

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2020/06/20



海潮音～上田敏訳詩集～ 改版(新潮文庫 う-2-1)

上田 敏 著

新潮社

朝日新聞 2020/06/20

2006:9./ 181p

978-4-10-119401-1

本体 ¥400+税



北原白秋詩集 改版(新潮文庫)

北原 白秋、神西 清 著

新潮社

朝日新聞 2020/06/20

2004:12./ 206p

978-4-10-119501-8

本体 ¥400+税



人類と病～国際政治から見る感染症と健康格差～(中公新書 2590)

詫摩 佳代 著

中央公論新社

ペスト、エイズ、新型コロナウイルスなどの感染症は次々と襲いかかる。その一方、生活習慣病や医療格差などの問題も深刻だ。国際保健にまつわる問題を洗い出し、これからも続く人類と病の闘いに必要なことがらを検討する。

2020:4./ 8p,238p

978-4-12-102590-6

本体 ¥820+税



朝日新聞 2020/06/20



お父さんは認知症～父と娘の事件簿～(中公新書ラクレ 689)

田中 亜紀子 著

中央公論新社

父が認知症になった! 運転をやめるまでの修羅場、気が付いたら家は血の海で父の額は骨…。バブル期に OL 生活を送り、自由を謳歌してきた著者が、人が変わってしまった父との毎日をコミカルにつづった介護奮闘記。

2020:5./ 189p

978-4-12-150689-4

本体 ¥800+税



朝日新聞 2020/06/20



コロナの時代の僕ら

パオロ・ジョルダノーノ 著

早川書房

この災いに立ち向かうために、僕らは何をするべきだったのだろう。何をしてはいけなかったのだろう。そしてこれから、何をしたらよいのだろう。コロナの時代を生きる人々に、イタリア人作家が贈る痛切で誠実なエッセイ集。

2020:4./ 126p

978-4-15-209945-7

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2020/06/20



猫を棄てる～父親について語るとき～

村上 春樹 著

文藝春秋

時が忘れさせるものがあり、そして時が呼び起こすものがある。中国での戦争経験を持つ父親の記憶を引き継いだ作家が父子の歴史と向き合う。初めて自らのルーツを綴ったノンフィクション。『文藝春秋』掲載を単行本化。

朝日新聞 2020/06/20

2020:4./ 101p

978-4-16-391193-9

本体 ¥1,200+税



県警 VS 暴力団～刑事が見たヤクザの真実～(文春新書 1263)

藪 正孝 著

文藝春秋

暴力団は「必要悪」ではない! 脅迫・銃撃・放火・殺人・手榴弾...全国唯一の特定危険指定暴力団・工藤会。現場を指揮した元刑事が、最凶組織壊滅作戦の全貌を明かす。

朝日新聞 2020/06/20

2020:5./ 271p

978-4-16-661263-5

本体 ¥850+税



ファシズムの教室～なぜ集団は暴走するのか～

田野 大輔 著

大月書店

甲南大学の「ファシズムの体験学習」を紹介しながら、ファシズムの仕組みと成り立ちを集団行動の観点から社会的に解説。ナチスの大衆動員の実態から、ヘイトスピーチなど身近な問題までを論じる民主主義のための入門書。

朝日新聞 2020/06/20

2020:4./ 201p

978-4-272-21123-4

本体 ¥1,600+税



図解心理学用語大全～人物と用語でたどる心の学問～

田中 正人 著

誠文堂新光社

150以上の心理学用語を、イラストとともにわかりやすく解説。その用語が中心に論じられている文献や、理解を深めるための知識などを掲載する。関係の深い心理学者を紹介した名鑑も収録。

朝日新聞 2020/06/20

2020:5./ 301p

978-4-416-52037-6

本体 ¥1,800+税



自分の軸で生きる練習～オックスフォード・国連で学んだ答えのない時代の思考法～

大仲 千華 著

大和書房

完璧主義をやめてみる、自分の強みに目を向ける、意思表示をし続ける...。世界のトップで活躍したコーチングのスペシャリストが、他人や世間に流されないための考え方を、エピソードを交えながら紹介する。

朝日新聞 2020/06/20

2020:5./ 206p

978-4-479-79708-1

本体 ¥1,400+税



知りすぎた男(創元推理文庫 Mチ 3-12)

G・K・チェスタトン 著

東京創元社

上流階級出身で、大物政治家ともつながりを持ち、才気にあふれながら「知りすぎているがゆえに何も知らない」という奇妙な苦悩を抱える人物・フィッシャー。高度な政治的見地を要する様々な事件を解決に導いてゆくが...。新訳。

朝日新聞 2020/06/20

2020:5./ 292p

978-4-488-11020-8

本体 ¥800+税





夢みごち

フジモトマサル 著

平凡社

夢からうつつへ、うつつから夢へ...どこまでもループしつづける終わりなき悪夢の連鎖。人気イラストレーター、待望の初長編マンガ!

朝日新聞 2020/06/20

2011:1.

978-4-582-28736-3

本体 ¥1,400+税



熊野から読み解く記紀神話〜日本書紀一三〇〇年紀〜(扶桑社新書 332)

池田 雅之／三石 学 編

扶桑社

熊野三山の御神体は、巨木であり、巨岩であり、滝である。自然を崇拝する原始宗教の色濃い熊野は、神話において出雲との共通項が多く、どちらも死を連想させる。死と再生の地である「根の国」熊野の真の姿に5人の筆者が迫る。

朝日新聞 2020/06/20

2020:5./ 271p

978-4-594-08370-0

本体 ¥950+税



コックファイター(扶桑社ミステリー ウ 3-7)

チャールズ・ウィルフォード 著

扶桑社

プロの闘鶏家・フランクは、最優秀闘鶏家賞のメダルを獲得するまでは誰とも口を利かないという誓いを立てていた。サンの勝負で敗れ、文無しになったフランクは...。前代未聞の闘鶏小説。ロジャー・コーマン製作のカルト映画原作。

朝日新聞 2020/06/20

2020:5./ 399p

978-4-594-08485-1

本体 ¥1,050+税



もうダメかも〜死ぬ確率の統計学〜

マイケル・ブラストランド／デイヴィッド・シュピーゲルハルター 著

みすず書房

人生の華奢な1年目のハザードは、地球1周以上の距離をバイクで走るのと同じ。予防接種、ギャンブル、交通機関、失業などにおけるあらゆる死の確率を「マイクロモート」概念で分析。ストーリー形式で解説するリスク大全。

朝日新聞 2020/06/20

2020:4./ 366p,27p

978-4-622-08888-2

本体 ¥3,600+税



「沖縄」に生きる思想〜岡本恵徳批評集〜

岡本 恵徳 著

未来社

近現代沖縄文学研究者にして運動の現場から発信し続けた思想家・岡本恵徳の半世紀にわたる思考の軌跡をたどる単行本未収録批評集。記憶の命脈を再発見する。

朝日新聞 2020/06/20

2007:8./ 293p,25p

978-4-624-11198-4

本体 ¥2,600+税



沖縄戦を知る事典〜非体験世代が語り継ぐ〜

吉川 由紀 編

吉川弘文館

「鉄の暴風」が吹き荒れた沖縄戦。その戦闘経過、「集団自決」の実態など、67項目を収録した読む事典。体験者の証言や戦争遺跡・慰霊碑などの理解を高める写真を豊富に交え、「なぜ今沖縄戦か」を問いかける。

朝日新聞 2020/06/20

2019:5./ 13p,204p

978-4-642-08352-2

本体 ¥2,400+税





言葉を使う動物たち

エヴァ メイヤー 著
柏書房

ゴリラは親を殺した密猟者について手話で表現する。韓国で育った象は韓国語を話し、韓国人にはそれがわかる。人間の言葉と同じ機能を持つ動物の「言葉」の事例を多数示す。2016 年オランダ語のベスト哲学書ノミネート作。

2020.4./ 259p

978-4-7601-5233-9

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2020/06/20



人、場所、歓待～平等な社会のための 3 つの概念～

金 賢京 著
青土社

すべての人に居場所がある社会の条件とは。韓国で注目を集める人類学者・社会学者が、ロック、ルソーらの近代思想から、デュルケーム、パターソンに至る理論を引用しつつ、社会に必要な政治学と論理的価値を論じる。

2020.4./ 289p

978-4-7917-7275-9

本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2020/06/20



愛の手紙～文学者の様々な愛のかたち～ 新装版

日本近代文学館 編
青土社

漱石、龍之介、潤一郎から太宰治まで。わが国の文豪・作家たちは、愛する人への熱き想いをどう伝えたのか。私的な秘められた手紙にいきいきと記された<こころ>の結晶。写真 210 点で構成。貴重な資料満載の文学アルバム。

2020.5./ 212p

978-4-7917-7278-0

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2020/06/20



映画には「動機(ワケ)」がある～「最前線の映画」を読む Vol.2～(インターナショナル新書 055)

町山 智浩 著
集英社インターナショナル

「シェイプ・オブ・ウォーター」のヒロインはなぜ口が利けないのか? 「スリー・ビルボード」の暴力警官は、なぜ ABBA を聞くのか? 映画のワン・シーンに込められた、監督の「ワケ」を深読みする。

2020.6./ 205p

978-4-7976-8055-3

本体 ¥820+税



朝日新聞 2020/06/20



パリの砂漠、東京の蜃気楼

金原 ひとみ 著
ホーム社

1 歳と 4 歳の娘と始めたパリでの母子生活。死の影から逃れるための突然の帰国。夫との断絶の中、混迷する東京の日々…。孤独と苦悩を綴った 2 年間の軌跡。WEB サイト『Bunkamura』『HB』掲載を単行本化。

2020.4./ 209p

978-4-8342-5337-5

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2020/06/20



ウェブスター辞書あるいは英語をめぐる冒険

コーリー・スタンパー、鴻巣 友季子、竹内 要江、木下 眞穂、ラッシャー貴子、手嶋 由美子、井口 富美子 著

左右社

“bitch”は侮蔑語か？ アメリカで最も歴史ある辞書出版社、メリアム・ウェブスターの編集者が言葉の謎をとく。一語一語と向き合い、格闘する、知られざる辞書編纂の世界とその秘密を明かす。

2020/4./ 355p

978-4-86528-256-6

本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2020/06/20



知覚の感光板

鈴木 理策 著

赤々舎

芸術家のあるべき姿を「知覚の感光板」と表した画家セザンヌの言葉に感銘を受けた写真家・鈴木理策が、かつて画家達が見たフランスや、アメリカの風景を捉え表現した作品を収録する。

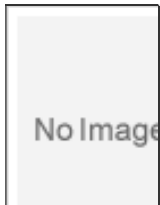
2020/4./ 103p

978-4-86541-112-6

本体 ¥8,000+税



朝日新聞 2020/06/20



クジャ幻視行

崎山 多美 著

花書院

このマチが、アメリカさんのでもニッポンさんのでもなかった時代ってのがあったの、あんた知ってる？ひたすらビンボーばっかでそれなりに平穩無事だった時代ってのが昔あったわけよこのマチの周辺シマジマには。

2017/6./ 189p

978-4-86541-108-3

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2020/06/20



ナンシー〜いいね!が欲しくてたまらない私たちの日々〜

オリヴィア・ジェイムス 著

DU BOOKS

1933 年にアメリカの新聞マンガに登場して以来、作者の代替わりを重ねながら連載が続く「ナンシー」。スマートフォンや SNS など、現代的な話題をふんだんに取り入れた作品をオールカラーで掲載。著者インタビューも収録。

2020/6./ 143p

978-4-86647-121-1

本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2020/06/20



一握の砂

石川 啄木、近藤 典彦 編

石川 啄木 著

桜出版

「一握の砂」の「一頁二首、見開き四首」という啄木の編集を再現し、その意図をわかりやすく解説。啄木研究 100 年の成果を踏まえた解題、索引と歌番号も付す。

2017/10./ 12p,337p

978-4-903156-23-1

本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2020/06/20



サガレン〜樺太/サハリン境界を旅する〜

梯 久美子 著

KADOKAWA

かつて、この国には“国境線観光”があった-。樺太/サハリン、旧名サガレン。北原白秋やチャーホフ、宮沢賢治らも訪れた境界の島。いったい何が彼らを惹きつけたのか？ 賢治の行程を辿りつつ、近現代史の縮図をゆく。

2020/4./ 285p

978-4-04-107632-3

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2020/06/20、日本経済新聞 2020/06/20、読売新聞 2020/06/21



英語原典で読む現代経済学

根井 雅弘 著

白水社

英語力を鍛えながら、経済学を学ぶ大学の原書講読を書籍化。ハイク、ポランニー、シュンペーターらの珠玉の英文を味わいながら、現代経済を見通す。

2020/6./ 227p

978-4-560-09773-1

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2020/06/20、日本経済新聞 2020/06/27



完訳統治二論(岩波文庫)

ジョン・ロック 著

岩波書店

朝日新聞 2020/06/27

2010/11./ 619p, 11p

978-4-00-340077-7

本体 ¥1,500+税



クラクフのりゅう〜ポーランドの昔話〜

アンヴィル 奈宝子 著

偕成社

お城の地下にすむりゅうを退治するため、強そうな男たちが集まりました。しかし、りゅうのあまりの恐ろしさに男たちは逃げ出してしまいます。それを見ていた靴職人のドゥラテフカは頭を使って、りゅう退治にのりだし…。

2020/5./ 36p

978-4-03-348510-2

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2020/06/27



春琴抄 改版(角川文庫 た77-2)

谷崎 潤一郎 著

KADOKAWA

琴曲の名手で盲目の春琴にあてがわれた世話係の佐助は、やがて春琴と切っても切れない深い仲になっていく。ある日、春琴が顔に熱湯を浴びせられるという事件が起こり…。異常なまでの献身によって表現される、愛の倒錯の物語。

2016/6./ 126p

978-4-04-400129-2

本体 ¥360+税



朝日新聞 2020/06/27



岩佐又兵衛風絵巻の謎を解く(角川選書 637)

黒田 日出男 著

KADOKAWA

岩佐又兵衛が関与したと思われる「又兵衛風絵巻群」。注文主の松平忠直はなぜ「乳母」と彼女に育てられる主人の子や、「傳(めのと)」一族同士の対立の物語を描かせたのか。3つの絵巻から、知られざる近世政治史に迫る。

2020/4./ 375p

978-4-04-703643-7

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2020/06/27



浜の甚兵衛(講談社文庫 く54-3)

熊谷 達也 著

講談社

明治 29 年、三陸大津波が発生。菅原甚兵衛は、沖買船の商売のため洋上にいて難を逃れた。ある日、事故で船を失った甚兵衛は、北洋でのラッコ・オットセイ猟に賭けて出る。「仙河海サーガ」、最初の物語。

2019/2./ 445p

978-4-06-514412-1

本体 ¥840+税



朝日新聞 2020/06/27



乱(講談社文庫 や 75-4)

矢野 隆 著

講談社

九州の島原と天草の切支丹に対する迫害は苛烈を極め、天草四郎の父親らは公儀への反抗を企てていた。四郎はその頃、森の中で生き抜いていた野生児「虎」と出会い…。戦国の世の最終決戦、島原の乱の闇に光を当てる歴史小説。

2020.5./ 373p

978-4-06-519665-6

本体 ¥760+税



朝日新聞 2020/06/27



希望の海～仙河海叙景～

熊谷 達也 著

集英社

東日本大震災により失われた日常と、得るべき希望。宮城県在住の直木賞作家が東北の港町に生きる人々の姿を通して描く、再生の物語全 9 編。「あの日」を描かない連作短編集。『小説すばる』等掲載を加筆・修正。

2016.3./ 307p

978-4-08-771649-8

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2020/06/27



私の考え(新潮新書 856)

三浦 瑠麗 著

新潮社

人間、迷ったら本音を言うしかない…。「怖がっているだけでは戦争はわからない」「政治家が浮気してもいい」「裏切られることの恐怖」など、政治について、孤独について、人生について、誠実に向き合った思索の軌跡。

2020.4./ 238p

978-4-10-610856-3

本体 ¥780+税



朝日新聞 2020/06/27



五・一五事件～海軍青年将校たちの「昭和維新」～(中公新書 2587)

小山 俊樹 著

中央公論新社

大川周明、北一輝、橘孝三郎ら海軍青年将校は、なぜ天皇親政の「昭和維新」を唱え、首相暗殺など兇行に走ったのか。そして、なぜ多くの国民は実行犯の減刑を嘆願したのか。昭和戦前の最大の分岐点の全貌とその後を描く。

2020.4./ 7p,286p

978-4-12-102587-6

本体 ¥900+税



朝日新聞 2020/06/27



法の精神(中公クラシックス W86)

モンテスキュー 著

中央公論新社

観念論的法思想を超えた法社会学の先駆。三権分立を論じ、合衆国憲法やフランス革命に影響を与えた代表作。モンテスキューの生涯と著作を取り上げた解説も収録する。

2016.3./ 26p,330p

978-4-12-160165-0

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2020/06/27



政治制度としての陪審制～近代日本の司法権と政治～ 増補

三谷 太郎 著

東京大学出版会

国民(市民)の司法参加を制度化した歴史的先例としての陪審制の政治史的意味を追究した名著に、2009 年に裁判員裁判が実施されるに先立って発表した論考 2 本を新たに収録し、裁判員制度の現在および将来を考察する。

2013.8./ 4p,335p,10p

978-4-13-030158-9

本体 ¥5,600+税



朝日新聞 2020/06/27



鯨立の海(文春文庫 く29-6)

熊谷 達也 著

文藝春秋

三陸の入り江の港町、仙河海。この北の海から、遙か遠方へ。父や兄とともに漁に一生をかけ、その栄枯盛衰を見た男の一代記。気仙沼市をモデルとした架空の町「仙河海」サーガの集大成。

朝日新聞 2020/06/27

2020.4./ 439p

978-4-16-791472-1

本体 ¥930+税



美術館って、おもしろい!〜展覧会のつくりかた、働く人たち、美術館の歴史、裏も表もすべてわかる本〜

モラヴィア美術館 編

河出書房新社

絵で見てわかる、美術館のすべて。美術館の歴史やしごと、展覧会のつくりかたなどを、カラフルな絵や広がるページで楽しく解説します。子どもはもちろん、ヨーロッパ美術の流れを教養として知りたい大人にも最適。

朝日新聞 2020/06/27

2020.5./ 61p

978-4-309-25657-3

本体 ¥3,200+税



深宇宙ニュートリノの発見〜宇宙の巨大なエンジンからの使者〜(光文社新書 1061)

吉田 滋 著

光文社

巨大なブラックホールをもつ、超高エネルギーのニュートリノを放出している銀河とは、いったいどんな天体なのか。素粒子観測施設で中心的役割を果たす著者が、宇宙研究の新たな地平を切り拓くサイエンスの現場の息吹を伝える。

朝日新聞 2020/06/27

2020.4./ 391p

978-4-334-04472-5

本体 ¥1,200+税



猫の傀儡(光文社文庫 光文社時代小説文庫 さ27-5)

西條 奈加 著

光文社

猫町に暮らす野良猫のミスジは、人を遣い、人を操り、猫のために働かせる「傀儡師」となった。ある履物屋の飼い猫の依頼を受けたミスジは、狂言作家の阿次郎を連れ出し…。猫愛たっぷりな描かれる、時代「猫」ミステリー。

朝日新聞 2020/06/27

2020.5./ 313p

978-4-334-79028-8

本体 ¥660+税



批判力〜フェイクを見抜く最強の武器〜

えらいてんちよう(矢内東紀) 著

実業之日本社

できない自分を認めることからしか、自分を高めたり、本当にできることを発見したりすることはできない。新時代の若き知性が、できない自分を認め、真つ当に生きていくために必要な力「批判力」について論じる。

朝日新聞 2020/06/27

2020.5./ 199p

978-4-408-33919-1

本体 ¥1,500+税



ぼくたちの緑の星

小手鞠 るい 著

童心社

木々は消え、音楽や本もなくなり、名前ではなく番号で呼ばれる灰色の社会。いたい、この星で何が起きているのか? ストーリーを通して、戦争と環境問題はひとつにつながったものであることを伝える SF 小説。

朝日新聞 2020/06/27

2020.5./ 190p

978-4-494-02060-7

本体 ¥1,300+税





りすとかえるとかぜのうた

うえだ まこと 著

BL出版

一度も旅にでたことがないけれど、「舟があれば、いっしょに海までいけるね」と、いつも話していたりすとかえる。ある日、りすは、手に入れたばかりの舟にのって、かえるに会いにいきました。ところが....

朝日新聞 2020/06/27

2020:5./ 32p

978-4-7764-0961-8

本体 ¥1,600+税



#名画で学ぶ主婦業

宝島社

眠らない我が子、毎日続く家事、自由奔放な夫、義母とのすれ違い....。止まらない心の叫びを主婦たちが「名画」にのせてツイートする、Twitter の人気ハッシュタグ「#名画で学ぶ主婦業」を書籍化。名画の解説も掲載する。

朝日新聞 2020/06/27

2018:8./ 127p

978-4-8002-8666-6

本体 ¥1,200+税



#名画で学ぶ主婦業～主婦は再びつぶやく～

田中 久美子 著

宝島社

2歳が描いてくれた壁画(賃貸)。旦那の親戚、めっちゃ来た....。止まらない心の叫びを主婦たちが「名画」にのせてツイートする、Twitter の人気ハッシュタグ「#名画で学ぶ主婦業」の書籍化第2弾。名画の解説も掲載。

朝日新聞 2020/06/27

2019:5./ 143p

978-4-8002-9446-3

本体 ¥1,200+税



鉄路の果てに

清水 潔 著

マガジンハウス

本棚で見つけた亡き父の「だまされた」というメモ書き。添えられた地図には、75年前の戦争で父が辿った足跡が記されていた....。韓国、中国、ロシアへ、気鋭のジャーナリストが戦争を辿る。

朝日新聞 2020/06/27

2020:5./ 252p

978-4-8387-3097-1

本体 ¥1,500+税



学校が子どもを殺すとき～「教える側」の質が劣化したこの社会で～ (論創ノンフィクション 001)

渋井 哲也 著

論創社

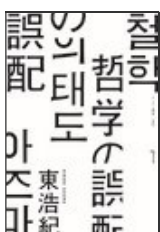
子どもたちを苦しめ死に迫りやる、「指導」という名の教師の暴言と体罰。学校や教育委員会は事実を伏せ....。いじめ自殺の子どもや遺族を取材する著者が、そこから見えてきた、学校が子どもを見殺しにする実態を伝える。

朝日新聞 2020/06/27

2020:5./ 244p

978-4-8460-1919-8

本体 ¥1,800+税



哲学の誤配

東浩紀 著

トランスビュー

韓国の読者に向けて語った2つのインタビューと、中国・杭州での最新講演を収録。誤配から観光へ展開した東思想を解き明かす必読のテキスト。韓国の若手論客パク・カブンによる解説も掲載。日韓並行出版。

朝日新聞 2020/06/27

2020:5.

978-4-907188-37-5

本体 ¥1,800+税





ストリートの美術～トゥオンブリからバンクシーまで～(講談社選書メチエ 724)

大山 エンリコイサム 著

講談社

バンクシーはなぜ匿名かつ有名なのか。ステンシルは何を可能にするのか。都市、地下鉄、路上の美学を考え、独自の表現を生む文化の背景を見つめ、横断的にストリートの感性を描く。

2020.4./ 281p

978-4-06-519518-5

本体 ¥1,900+税



東京・中日新聞 2020/06/07



奨学金なんかこわくない!

栗原 康 著

新評論

選択と集中・受益者負担・偽の無償化・大学の社会貢献。全部まとめてサヨウナラ。奨学金による借金がある大学非常勤講師が大学無償化の思想や奨学金問題を論じる。2020 年度開始「高等教育の修学支援制度」の問題点も解説。

2020.4./ 269p

978-4-7948-1149-3

本体 ¥2,000+税



東京・中日新聞 2020/06/07



佐藤栄作最後の密使～日中交渉秘史～

宮川 徹志 著

吉田書店

1972 年、田中角栄によって実現した日中国交正常化の 99%は、佐藤栄作の手で解決済みであった。佐藤が中国との交渉にあたらせた一人の密使の実像に、新たに発見された資料を基に迫る。

2020.4./ 302p,63p

978-4-905497-85-1

本体 ¥2,900+税



東京・中日新聞 2020/06/07



逆ソクラテス

伊坂 幸太郎 著

集英社

敵は、先入観。世界をひっくり返せ! デビュー20 年目の著者が描く少年たちの物語。『オール讀物』掲載の「スロウではない」など、書き下ろし 3 編を含む短編全 5 編を収録。

2020.4./ 276p

978-4-08-771704-4

本体 ¥1,400+税



東京・中日新聞 2020/06/07、産経新聞 2020/06/14



蝶の唆(おし)え～現代のフェアブルが語る自伝エッセイ～

奥本 大三郎 著

小学館

ギンヤンマ、進駐軍、ラジオ…。懐かしいものがたくさん詰まった、大人のための児童文学。ひと昔前の日本人と社会風俗、そして少年の心象風景とあいまって、のちに虫好きフランス文学者となる著者の少年期を鮮やかに描く。

2020.4./ 239p

978-4-09-388751-9

本体 ¥1,800+税



東京・中日新聞 2020/06/14



占領と引揚げの肖像・BEPPU～1945?1956～

下川正晴 著

弦書房

占領軍と引揚げ者がひしめいたモダン都市 BEPPU の相貌。「日本最強の引揚げ者都市」だった別府の戦後史を考察する。東京中心の戦後史からは見えない「個々の住民が体験した戦後」を浮かび上がらせる。

2020.4./ 308p

978-4-86329-203-1

本体 ¥2,200+税



東京・中日新聞 2020/06/14



めんどくさい本屋〜100年先まで続ける道〜(ミライのパスポ)

竹田 信弥 著

本の種出版

どんな手段を使っても、ぼくは100年先まで自分の本屋を生き残らせる…。東京・赤坂の選書専門書店『双子のライオン堂』のたいそうめんどくさい店主が本と本屋の未来を描く。

2020:4./ 241p

978-4-907582-21-0

本体 ¥1,700+税



東京・中日新聞 2020/06/14



逃亡者

中村 文則 著

幻冬舎

第二次大戦下、ある作戦を不穏な成功に導いたとされる美しきトランペット。それを隠し持ち逃亡する男にはしかし、ある女性と交わした一つの「約束」があった。『中日新聞』他連載を加筆修正し単行本化。

2020:4./ 501p

978-4-344-03593-5

本体 ¥1,700+税



東京・中日新聞 2020/06/14、日本経済新聞 2020/06/20



仏陀バンクの挑戦〜バングラデシュ、貧困の村で立ち上がる日本人と仏教系先住民たち〜

伊勢 祥延、上川 泰憲 著

集広舎

イスラム教国家バングラデシュの仏教徒を、ブッダの慈悲で立ち上がらせる! 日本の仏教徒らの「善意の出資」を原資に、アジア各国の人々に無利子の小規模融資を行うマイクロクレジットによる支援活動の記録。

2020:4./ 404p

978-4-904213-91-9

本体 ¥2,000+税



東京・中日新聞 2020/06/14、日本経済新聞 2020/06/27



白人ナショナリズム〜アメリカを揺るがす「文化的反動」〜(中公新書 2591)

渡辺 靖 著

中央公論新社

トランプ政権の誕生以降、白人至上主義と自国第一主義が結び付いた「白人ナショナリズム」が広がるアメリカ。社会の分断が深まるなか、自由主義の盟主はどこへ行くのか。草の根のリアルな動向を現地から報告する。

2020:5./ 212p

978-4-12-102591-3

本体 ¥800+税



東京・中日新聞 2020/06/21



少年と犬

馳 星周 著

文藝春秋

家族のために犯罪に手を染めた男が拾った犬。守り神になったその犬はある意志を秘めていた。人生の無常と犬の神秘性を描いた全6編を収録。『オール讀物』掲載を単行本化。

2020:5./ 308p

978-4-16-391204-2

本体 ¥1,600+税



東京・中日新聞 2020/06/21



告白〜岐阜・黒川満蒙開拓団 73 年の記録〜

川 恵実/NHK ETV 特集取材班 著

かもがわ出版

旧満州から生還したその命をつないだものは。2017年8月、NHK ETV 特集「告白?満蒙開拓団の女たち?」の放送から2年半。女性達の心の奥底と次世代の人々の苦悩と決意までも聴き取ったフォト・ルポルタージュ。

2020:3./ 323p

978-4-7803-1047-4

本体 ¥2,500+税



東京・中日新聞 2020/06/21



社会とことば(井上ひさし発掘エッセイ・セレクション)

井上 ひさし 著
岩波書店

新聞・雑誌等で好評を得ながら、まだ著書に収められていないエッセイをテーマ別の3冊に編む。「社会とことば」には、吉里吉里人、コメ、憲法、原発など社会的なテーマと、生涯こだわり続けた言葉をめぐるエッセイを収録。

2020/4./ 9p,186p

978-4-00-028148-5

本体 ¥2,000+税



東京・中日新聞 2020/06/28



天皇論～江藤淳と三島由紀夫～

富岡 幸一郎 著
文藝春秋

江藤淳と三島由紀夫というふたりの文学者の交点にこそ、今日論すべき天皇論の核心がある。昭和天皇崩御直後に行った江藤淳と著者との長時間対論と、没後 50 年を迎える三島由紀夫の天皇観とを対峙させた画期的論考。

2020/5./ 254p

978-4-16-391209-7

本体 ¥2,200+税



東京・中日新聞 2020/06/28



アインシュタインの影～ブラックホール撮影成功までの記録～

セス・フレッチャー 著
三省堂

銀河の中心にある巨大ブラックホール。その見えざる影を追い、ブラックホールの写真を撮るという難題に挑んだ天文学者たちの物語。撮影プロジェクトで日本チームが果たした役割を補足した解説も収録。

2020/5./ 319p

978-4-385-36099-7

本体 ¥2,000+税



東京・中日新聞 2020/06/28



明治零年～サムライたちの天命～

加納 則章 著
エイチアンドアイ

薩摩・西郷と、長州・桂が、参謀・山県に命じた秘密の指令とは？ 百万石の前田家は、独立割拠するののか？ 明治維新の本質、武士の大義と存在を、根底から問い直す異色歴史小説。

2020/5./ 284p

978-4-908110-10-8

本体 ¥1,800+税



東京・中日新聞 2020/06/28



THE LYRICS<1961-1973>

ボブ・ディラン 著
岩波書店

アメリカ大衆歌謡の伝統を汲みながら詩に新地平をひらき、音楽とことばの限界を超えていった現代の吟遊詩人ボブ・ディランの神髄。「ボブ・ディラン」から「プラネット・ウェイヴズ」まで、自作詞全 200 篇を対訳形式で収録。

2020/3./ 5p,549p,11p

978-4-00-061399-6

本体 ¥4,500+税



読売新聞 2020/06/07



THE LYRICS<1974-2012>

ボブ・ディラン 著
岩波書店

アメリカ大衆歌謡の伝統を汲みながら詩に新地平をひらき、音楽とことばの限界を超えていった現代の吟遊詩人ボブ・ディランの神髄。「血の轍」から「テンペスト」まで、自作詞全 187 篇を対訳形式で収録。

2020/3./ 5p,575p,9p

978-4-00-061400-9

本体 ¥4,500+税



読売新聞 2020/06/07



モルグ街の殺人事件(岩波少年文庫 556)

E.A.ポー 著

岩波書店

密室殺人事件の意外な犯人を推理する天才デュパン。自分とそっくりな人間の影におびえる男。船をのみこむ恐ろしい大渦。ぶきみな黒猫を嫌悪する男…。謎解きのおもしろさと恐怖に満ちた 7 編を収録。

2002:8./ 226p

978-4-00-114556-4

本体 ¥640+税



読売新聞 2020/06/07



記者失格

柳澤秀夫 著

朝日新聞出版

戦場で麻痺する死への感覚、がん、生への執着、組織ジャーナリズムの矛盾、現場に行けないもどかしさ…。『あさイチ』で人気を博した元 NHK 解説委員長・柳澤秀夫がその半生を振り返る。

2020:3./ 241p

978-4-02-331871-7

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2020/06/07



感染症の世界史(角川ソフィア文庫 I405-1)

石 弘之 著

KADOKAWA

最強の感染症=エボラ出血熱を人類は押さえ込めるのか!? 微生物(ウイルス・細菌・寄生虫)の最新遺伝子情報、40 億年の地球環境史の視点から、人類を苦しめる感染症の正体を暴く。

2018:1./ 372p

978-4-04-400367-8

本体 ¥1,080+税



読売新聞 2020/06/07



現代経済学の直観的方法

長沼 伸一郎 著

講談社

世界の状況が刻々と変わる現在、文系理系問わず、経済を知らずに世の中を知ることはいくつかできない。「経済をなんとなく避けてきた」人に向けて、現代資本主義社会の本質とその問題をわかりやすく解説する。

2020:4./ 455p

978-4-06-519503-1

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2020/06/07



仕事の未来～「ジョブ・オートメーション」の罠と「ギグ・エコノミー」の現実～ (講談社現代新書 2569)

小林 雅一 著

講談社

頭脳労働さえ自動化する AI の登場によって、仕事はどう変わるのか。世界各国で増えている新しい職業とは。この大変化に我々はどう対応すればいいのか。人が働く意味とは何かを考える。

2020:4./ 272p

978-4-06-519935-0

本体 ¥900+税



読売新聞 2020/06/07



夷狄を待ちながら(集英社文庫)

J.M.クツウェー 著

集英社

読売新聞 2020/06/07

2003:12./ 359p

978-4-08-760452-8

本体 ¥850+税





森光子 百歳の放浪記(中公新書ラクレ 681)

川良 浩和 著
中央公論新社

「日本のお母さん」として親しまれた森光子。生前の森が心を許した、浜木綿子、黒柳徹子、石井ふく子、東山紀之らにインタビューし、その貴重な証言と多くの資料から、波瀾の生涯と、舞台に立とうとし続けた大女優の姿を描く。

読売新聞 2020/06/07

2020:3./ 253p

978-4-12-150681-8

本体 ¥900+税



疫病と世界史<上>(中公文庫)

ウィリアム・H.マクニール 著
中央公論新社

読売新聞 2020/06/07

2007:12./ 275p

978-4-12-204954-3

本体 ¥1,200+税



疫病と世界史<下>(中公文庫)

ウィリアム・H.マクニール 著
中央公論新社

読売新聞 2020/06/07

2007:12./ 301p

978-4-12-204955-0

本体 ¥1,200+税



もっと試験に出る哲学〜「入試問題」で東洋思想に入門する〜(NHK 出版新書 622)

斎藤 哲也 著
NHK出版

仏教の基本から、儒教、老荘、日本思想まで。センター試験「倫理」厳選 26 問を導入に、インド・中国・日本をまたぐ東洋思想の流れをわかりやすく解説。東洋思想の基本が身につく、学びなおしに最適な一冊。

読売新聞 2020/06/07

2020:5./ 286p

978-4-14-088622-9

本体 ¥900+税



名門譜代大名・酒井忠孝の奮闘(文春学芸ライブラリー 歴史 38)

福留 真紀 著
文藝春秋

4 代将軍徳川家綱の大老・酒井忠清の嫡男、忠孝。将来を約束されたはずの彼の人生は、父の失脚で、突如暗転する。度重なる苦難に抗い、家の存続に奔走、時に喜び、時に悩みながらも、生涯忠勤に励んだ等身大の実像に迫る。

読売新聞 2020/06/07

2020:4./ 299p,4p

978-4-16-813086-1

本体 ¥1,600+税



アジア燃ゆ(MdN 新書 003)

近藤 大介 著
エムディエヌコーポレーション

「新型コロナウイルス」に揺れる中国、混沌の香港デモ、大統領選で反中を示した台湾。第一線ジャーナリストの現地ルポで、激動するアジアの真実に迫る。2002 年と 2004 年の「小泉純一郎首相訪朝同行記」も併録。

読売新聞 2020/06/07

2020:4./ 374p

978-4-295-20002-4

本体 ¥891+税





ライブツィヒの犬(祥伝社文庫 い 34-1)

乾 緑郎 著

祥伝社

気鋭の劇作家内藤岳は、シェイクスピアの翻案作品で名を馳せた世界的劇作家ギジに師事するためドイツに渡る。だが、ギジは 30 年ぶりの新作とともに姿を消した。岳はギジの足跡を辿り、彼の経歴から消された闇を知ることに...

2020:5./ 386p

978-4-396-34630-0

本体 ¥760+税



読売新聞 2020/06/07



異なる声に耳を澄ませる(知のフィールドガイド)

東京大学教養学部 編

白水社

ダンテ「神曲」から AI まで、さまざまな思考が響き合う、人文知の真髓がここに。東京大学教養学部主催・生産技術研究所共催の「高校生と大学生のための金曜特別講座」をもとに書籍化。

2020:5./ 201p

978-4-560-09756-4

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2020/06/07



新型コロナウイルスの真実(ベスト新書 610)

岩田健太郎 著

ベストセラーズ

クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」になぜ私は乗船し、追い出されたのか? 感染症専門医の第一人者が、動画公開に至るまでの?末や、新型コロナウイルスの正体と感染対策などについて分かりやすく解説する。

2020:4./ 217p

978-4-584-12610-3

本体 ¥900+税



読売新聞 2020/06/07



いとこの森の家(ポプラ文庫 ひ 3-1)

東 直子 著

ポプラ社

都会から田舎に引っ越してきた加奈子は、森の中でおハルさんという笑顔の素敵なおばあさんと出会う。深い森がはぐくんだ命の記憶を、少女のまなざしで瑞々しく描いた物語。

2017:4./ 247p

978-4-591-15434-2

本体 ¥620+税



読売新聞 2020/06/07



ひきこもりのライフストーリー(フィギュール彩 2-3)

保坂 渉 著

彩流社

ひきこもり当事者自身の声に耳を傾けると、そこに至るまでの理由も現象も多様化していることがわかる。ひきこもり状態、そこに至るまで、その状態を抜け出す軌跡を、本人が語るライフストーリー。本当に必要なことは何なのか。

2020:4./ 214p

978-4-7791-7107-9

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2020/06/07



平和構築の志～東ティモールでの平和構築活動から学んだ教訓～

長谷川 祐弘 著

創成社

37 年間にわたり国連で勤務し、そのうち 13 年間に東ティモール等で国連が行ってきた平和維持と平和構築支援活動に従事してきた著者が、自身の経験をふまえ、自らの心構えを再構築できる指導者の重要性を訴える。

2020:3./ 13p,480p

978-4-7944-7080-5

本体 ¥4,000+税



読売新聞 2020/06/07



野中モモの「ZINE」小さなわたしのメディアを作る(シリーズ《日常術》)

野中 モモ 著

晶文社

世界で一番小さなメディア「ZINE」。自ら ZINE を作り、探し、紹介してきた著者が、自身の経験や、ZINE のとりこになった人たちの声を伝えながら、色鮮やかな ZINE の世界を紹介する。

2020:3./ 145p

978-4-7949-7171-5

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2020/06/07



老百姓、再び!(田畑ブックレット)

手代木 公助 著

田畑書店

1980 年代半ば、「新中国」への思いを断ち切れず、定年を待たずに高校教師を退いて中国に渡った著者。老百姓との交流の中で、大事にしたものとは…。中国体験を綴ったエッセイと、晩年に綴った回想録などを収録する。

2020:3./ 172p

978-4-8038-0372-3

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2020/06/07



動きだした時計～ベトナム残留日本兵とその家族～

小松みゆき 著

めこん

第 2 次世界大戦後も帰国せずにベトナムに残った日本兵やその家族たちとの 30 年におよぶ交流の記録。ベトナムの政治・社会史の専門家による歴史的な背景の解説、手記や手紙などの資料も収録する。

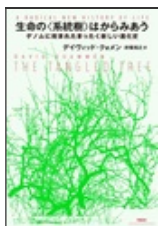
2020:5./ 317p

978-4-8396-0321-2

本体 ¥2,500+税



読売新聞 2020/06/07



生命の<系統樹>はからみあう～ゲノムに刻まれたまったく新しい進化史～

デイヴィッド・クオメン 著

作品社

生命の系統樹は、複雑に絡み合う樹だった。地球上のすべての生命のあいだの類縁関係を<樹>として描き出そうとした科学者たちの 200 年にわたる試行錯誤の歴史を、米国を代表するサイエンスライターが語る。

2020:2./ 376p,60p

978-4-86182-796-9

本体 ¥3,600+税



読売新聞 2020/06/07



大地よ!～アイヌの母神・宇梶静江自伝～

宇梶 静江 著

藤原書店

アイヌモシリで貧しくも豊かな時を過ごした少女は、職を求め東京へ。東京で日々を重ねるうちアイヌであることに目覚めた著者は、自らの表現を求め“古布絵”を見出す。壮絶な生涯を振り返りアイヌとしての生を問う、魂の書。

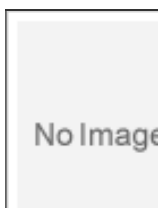
2020:2./ 442p

978-4-86578-261-5

本体 ¥2,700+税



読売新聞 2020/06/07



統道真伝<上>(岩波文庫)

安藤 昌益、奈良本 辰也 著

岩波書店

読売新聞 2020/06/14

1966:8./ 444p

978-4-00-330071-8

本体 ¥860+税





マックス・ヴェーバー～主体的人間の悲喜劇～(岩波新書 新赤版 1834)

今野 元 著

岩波書店

今も読み継がれる名著を数多く残した知の巨人マックス・ヴェーバーの「人格形成物語」を描く試み。個別作品の鑑賞ではなく、それを生み出した文脈、つまりヴェーバーの生涯およびそれを取り巻く歴史的な文脈を解明する。

2020:5./ 9p,242p,8p

978-4-00-431834-7

本体 ¥860+税



読売新聞 2020/06/14



可能性としての戦後以後(岩波現代文庫 文芸 323)

加藤 典洋 著

岩波書店

生ける戦後を知らぬ戦後以後という時代。この日本を生きる私たちの思想的可能性はどこにあるのか。「敗戦後論」で戦後の思想空間をラディカルに解体した著者が、戦後の精神の再生に向けて新たな構築を開始する評論集。

2020:4./ 14p,349p

978-4-00-602323-2

本体 ¥1,240+税



読売新聞 2020/06/14



鴻上尚史のもっとほがらか人生相談～息苦しい「世間」を楽に生きる処方箋～

鴻上尚史 著

朝日新聞出版

「隠居後、孤独で寂しくてたまりません」「リツイートやいいねの数を比べ、ひどい嫉妬心にかかられます」など 27 件の相談に、鴻上尚史が具体的で実行可能なアドバイスを贈る。『一冊の本』『AERA dot.』連載を書籍化。

2020:5./ 234p

978-4-02-251684-8

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2020/06/14



アガンベン《ホモ・サケル》の思想(講談社選書メチエ 723)

上村 忠男 著

講談社

長らく思想の最前線を牽引してきたイタリアの思想家ジョルジョ・アガンベン。その代表作にしてライフワークである<ホモ・サケル>プロジェクトは何を目指していたのか? 全容を平明に解説する。

2020:3./ 187p

978-4-06-518756-2

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2020/06/14



北澤楽天と岡本一平～日本漫画の二人の祖～(集英社新書 1019)

竹内 一郎 著

集英社

手塚治虫以前、日本漫画の源流となった男たちとは。キャラクター作りの名人・北澤楽天と、ストーリー漫画の原型を生んだ岡本一平。二人の足跡と、手塚までの日本漫画史を描く。

2020:4./ 187p

978-4-08-721119-1

本体 ¥820+税



読売新聞 2020/06/14



ハッチとマーロウ(小学館文庫 あ 43-1)

青山 七恵 著

小学館

ハッチとマーロウは双子の女の子。11 歳の誕生日、ママが突然「大人を卒業する」と宣言した。料理、洗濯、掃除に勉強。ふたりに突如シビアな現実が降りかかり…。

2020:4./ 428p

978-4-09-406757-6

本体 ¥800+税



読売新聞 2020/06/14



神の子どもたちはみな踊る(新潮文庫)

村上 春樹 著

新潮社

読売新聞 2020/06/14

2002:2./ 237p

978-4-10-100150-0

本体 ¥490+税



旅のつばくろ

沢木 耕太郎 著

新潮社

思い起こせば私が初めて 1 人だけの大旅行をしたのが 16 歳のときの東北一周旅行だった…。世界を巡ってきた著者が、あの頃のように日本を気ままに歩いて綴った旅エッセイ。JR 東日本車内誌『トランヴェール』連載を単行本化。

2020:4./ 213p

978-4-10-327521-3

本体 ¥1,000+税



読売新聞 2020/06/14



マックス・ウェーバー～近代と格闘した思想家～(中公新書 2594)

野口 雅弘 著

中央公論新社

合理性や官僚制というキーワードを元に、資本主義の発展や近代社会の特質を研究し、政治・経済学をはじめ幅広い学問分野に多大な影響を及ぼしたマックス・ウェーバー。彼の 56 年の生涯を辿りつつ、思想のエッセンスを解説。

2020:5./ 8p,276p

978-4-12-102594-4

本体 ¥860+税



読売新聞 2020/06/14



浪漫疾風録(中公文庫 い2-7)

生島 治郎 著

中央公論新社

田村隆一に仕事を叩きこまれ、都築道夫の後を受けて『EQMM』編集長を務め、そして作家になり…。1956?64 年の疾風怒涛の編集者時代と戦後ミステリの草創期を活写する、ハードボイルド作家の自伝的長篇小説。

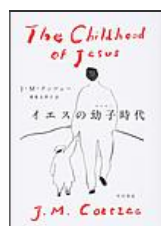
2020:5./ 308p

978-4-12-206878-0

本体 ¥880+税



読売新聞 2020/06/14



イエスの幼子時代

J.M.クッツェー、鴻巣 友季子 著

早川書房

母と生き別れた少年の面倒を見ることになった初老の男。彼らが向かうのは過去を捨てた人々が暮らす街。男も新たな名前と経歴を得て、ひとりで気ままに生きるはずだったが…。人と人のつながりをアイロニカルに問う長篇。

2016:6./ 374p

978-4-15-209620-3

本体 ¥2,300+税



読売新聞 2020/06/14



イエスの学校時代

J・M・クッツェー 著

早川書房

ノビージャの街を捨て、田舎町に逃れてきたダビード、シモン、イネスの家族。シモンとイネスは農園に住み込みの仕事を見つけ、6 歳のダビードは、ダンススクールでバレエと数字を学ぶ!? 「イエスの幼子時代」続篇。

2020:4./ 319p

978-4-15-209934-1

本体 ¥2,300+税



読売新聞 2020/06/14



沖縄戦と民衆

林 博史 著

大月書店

ひめゆり学徒、皇民化教育、集団自決…。激しい地上戦の中で沖縄の老若男女が選んだ道をこうしたイメージだけで描きつくせるのか。膨大な事実の蓄積をふまえて、沖縄戦の民衆像をリアルに、全面的に捉えた調査研究の集大成。

2001.12./ 375p,30p

978-4-272-52067-1

本体 ¥5,600+税



読売新聞 2020/06/14



おもてなしお寺スイーツ 12ヶ月〜「神谷町オープンテラス」でいただく四季のスイーツ〜

木原 祐健 著

河出書房新社

暦にちなんだ甘いお菓子里にほっこりしたり、心の声にじっと耳を傾けたり。東京・神谷町、光明寺のお坊さんとお菓子と、境内のテラスに集う人々のおはなしを綴ったエッセイ集。季節のスイーツレシピも紹介する。

2020.2./ 110p

978-4-309-02859-0

本体 ¥1,650+税



読売新聞 2020/06/14



リスからアリへの手紙

トーン・テレヘン 著

河出書房新社

高い木に家を構える思慮深いリス君、蜜が大好きな奥ゆかしいアリさん、ダンスを愛する象君…。個性豊かなどうぶつたちが好きな食べ物や誕生日についてやりとりする。風に運ばれる手紙が伝える、オフビートで滋養に満ちた物語。

2020.3./ 109p

978-4-309-20793-3

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2020/06/14



核は暴走する〜アメリカ核開発と安全性をめぐる闘い〜<上>

エリック・シュローサー、布施 由紀子 著

河出書房新社

冷戦期に日常的なミスにより起きた、大陸間弾道ミサイル「タイタンII」発射施設の事故。アメリカの核兵器にまつわる事故の実例を明らかにし、核のリスクを生々しく描くとともに、アメリカの核兵器の歴史を丹念に振り返る。

2018.7./ 356p

978-4-309-25385-5

本体 ¥3,900+税



読売新聞 2020/06/14



核は暴走する〜アメリカ核開発と安全性をめぐる闘い〜<下>

エリック・シュローサー、布施 由紀子 著

河出書房新社

冷戦期に日常的なミスにより起きた、大陸間弾道ミサイル「タイタンII」発射施設の事故。アメリカの核兵器にまつわる事故の実例を明らかにし、核のリスクを生々しく描くとともに、アメリカの核兵器の歴史を丹念に振り返る。

2018.7./ 362p

978-4-309-25386-2

本体 ¥3,900+税



読売新聞 2020/06/14



福島第一原発収束作業日記〜3・11からの700日間〜(河出文庫 18-1)

ハッピー 著

河出書房新社

あの時、何が起きていたのか? 今、何が起きているのか? 進まぬ汚染水処理、劣悪な労務環境、困難を極める廃炉作業…。福島第一原発現場作業員による、3・11からほぼ毎日ツイッター上で発信された「生」の手記。

2015.2./ 365p

978-4-309-41346-4

本体 ¥830+税



読売新聞 2020/06/14



恋愛未満

篠田 節子 著
光文社

50 男が真剣に結婚を考えたとき。許せる? 家庭ある男女の友情。介護地獄に現れた騎士。日常のあらゆる所に存在し、恋愛に至るようで至らない、男女の微妙な?がりを巧みに描く。5 つの短編を収録。

2020:4./ 234p

978-4-334-91342-7

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2020/06/14



明日咲く言葉の種をまこう〜心を耕す名言 100〜

岡崎武志 著
春陽堂書店

名言にはわけがある! 本から映画、ラジオ、墓碑銘にいたるまで、「プロの読書家」である著者が拾い集めた名言を厳選し、その背景やエピソードを解説する。

2020:3./ 318p

978-4-394-90368-0

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2020/06/14



広島復興の戦後史～廃墟からの「声」と都市～

西井 麻里奈 著
人文書院

廃墟からの「復興」が唱えられるとき、聞こえなくなる声がある。広島戦災復興土地地区画整理事業における各種の立退きについて、住民が行政に対し異議申立てを行った陳情書などをもとに考察。広島戦後復興を捉えなおす。

2020:4./ 378p

978-4-409-24129-5

本体 ¥4,500+税



読売新聞 2020/06/14



ごはん通(ちくま文庫 あ 26-10)

嵐山 光三郎 著
筑摩書房

粥と雑炊、おにぎりとおむすび、すし…。どういふ米でどの炊き方がうまいかを美食に基づき説き、日本人と米のかかわり、米を使った食品のうまさや味わい方を、文学者のエピソードなどと共にわかりやすく面白く語るエッセイ。

2020:5./ 253p

978-4-480-43668-9

本体 ¥800+税



読売新聞 2020/06/14



子供が消えゆく国(日経プレミアシリーズ 423)

藤波 匠 著
日本経済新聞出版社

2019 年、日本人の出生数が 86 万人に急減し、本格的な人口減少時代に足を踏み入れた。私たちはどうすればいいのか? 人手不足を逆手にとってチャンスに変える方策を、綿密なデータ分析と実施調査をもとに示す。

2020:4./ 229p

978-4-532-26423-9

本体 ¥850+税



読売新聞 2020/06/14



石に刻まれた江戸時代〜無縁・遊女・北前船〜(歴史文化ライブラリー 498)

関根 達人 著
吉川弘文館

江戸時代に作られた多種多様な石造物に込められたメッセージを、供養塔や災害碑に光を当て解説。人々の祈りや願い、神社への奉納石から海運史、石工の姿を描き、近世の自然や社会環境の実態に迫る。

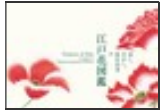
2020:4./ 7p,268p

978-4-642-05898-8

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2020/06/14



美し、をかし、和名由来の江戸花図鑑

田島 一彦、マイケル・ブルーシャ、マックリース・ダニエル、ブレインウッズ株式会社 著

パイインターナショナル

日本で最初の本格的な彩色植物図鑑といわれる江戸末期の植物図譜「本草図譜」から 96 点の植物を厳選。和名や別名、名の由来を中心に、日本への伝来時期、植物が登場する詩歌、花言葉など、植物の文化的側面と共に紹介する。

読売新聞 2020/06/14

2019.3./ 212p

978-4-7562-5177-0

本体 ¥2,800+税



美し、をかし、和名由来の江戸鳥図鑑

田島 一彦 著

パイインターナショナル

江戸時代の博物画の中でも写実性と繊細で美しい筆致で評価の高い毛利梅園の「梅園禽譜」から 86 点の鳥を厳選。春、夏、秋、冬、飼い鳥、家禽の章に分けて掲載し、解説する。

読売新聞 2020/06/14

2020.3./ 209p

978-4-7562-5321-7

本体 ¥2,800+税



土と内臓〜微生物がつくる世界〜

デイビッド・モントゴメリー、アン・ビクレ、片岡 夏実 著

築地書館

マイクロバイーム研究で明かされた人体での驚くべき微生物の働きと、土壌での微生物相の働きによる豊かな農業とガーデニング。微生物研究と人間の歴史を振り返り、微生物と動植物との共生関係、免疫との関わりを紹介する。

読売新聞 2020/06/14

2016.11./

12p,333p,36p

978-4-8067-1524-5

本体 ¥2,700+税



釜ヶ崎合唱団〜労働者たちが波乱の人生を語った〜

釜ヶ崎炊き出しの会 著

ブレーンセンター

望郷の念、亡き母への思慕、叶えられなかった夢…。様々な思いを胸に秘め、日々仕事に励む大阪・釜ヶ崎の労働者たちが、波乱の人生を語る。「釜ヶ崎炊き出しの会」機関誌『絆通信』掲載記事を書籍化。

読売新聞 2020/06/14

2018.11./ 517p

978-4-8339-0552-7

本体 ¥2,500+税



ステレオタイプの科学〜「社会の刷り込み」は成果にどう影響し、わたしたちは何ができるのか〜

クロード・スティール／北村 英哉 著

英治出版

女性は数学が苦手、男性はケア職に向いていない、白人は差別に鈍感…。「できない」と言われると、人は本当にできなくなってしまう。固定観念が人間の行動に強力な影響を与えるメカニズムと対処法を社会心理学者が解明する。

読売新聞 2020/06/14、産経新聞 2020/06/28

2020.4./ 293p

978-4-86276-287-0

本体 ¥2,200+税



法社会学

N.ルーマン 著

岩波書店

読売新聞 2020/06/21

1991.1./ 398p,23p

978-4-00-002070-1

本体 ¥6,300+税





哲学探究

ルートヴィヒ・ヴィトゲンシュタイン、丘沢 静也 著

岩波書店

自らの哲学を、日常言語の働きの理解に向かって大きく転換させたヴィトゲンシュタインの主著。遺稿にさかのぼって新たなテキスト整備がほどこされた新校訂のエディションにもとづく新訳。野家啓一による解説も収録。

2013.8./ 24p,467p

978-4-00-024041-3

本体 ¥3,500+税



読売新聞 2020/06/21



京都ざらい(朝日新書 531)

井上 章一 著

朝日新聞出版

中華思想、姫と坊主、東京“外資系”、寺と花柳界、古都税、怨霊鎮め、町屋の闇…。さげすまれてきた「洛外人」が、京都人のえらそうな腹のうちを暴露する。洛中千年の「花」「毒」を見定める新・京都論。

2015.9./ 221p

978-4-02-273631-4

本体 ¥760+税



読売新聞 2020/06/21



京都まみれ(朝日新書 760)

井上章一 著

朝日新聞出版

京都と東京はどちらが格上か。各地に残る不可解な地名から「とらや」の羊羹まで、数々の物的証拠が千年の古都のあなどりがたさを告げる。「京都ざらい」の著者が、京都市的思考を解明する。

2020.4./ 246p

978-4-02-295063-5

本体 ¥810+税



読売新聞 2020/06/21



京都の精神(角川ソフィア文庫)

梅棹 忠夫／角川書店装丁室 著

角川学芸出版

町並みや伝統産業、文化に表れる京都中華思想ともいうべき、独自の精神をやさしく解明。京の町と心に触れ、日本文化の真髄を知る不朽の京都論。京都人の常識や本音を忌憚なく語る「私家版 京都小事典」付き。

2005.9./ 267p

978-4-04-376402-0

本体 ¥680+税



読売新聞 2020/06/21



国のうた(角川ソフィア文庫 J152-1)

弓狩 匡純 著

KADOKAWA

ハイドン作曲のドイツ。芝居の劇中歌だったチェコ。世界一長いギリシャ…。国歌を知れば、国家がわかる！世界 84 カ国の国歌の原文・訳文を収録。エピソードや地図に加え、面積・人口・言語といった基本データも掲載する。

2020.2./ 297p

978-4-04-400531-3

本体 ¥840+税



読売新聞 2020/06/21



嵐のピクニック(講談社文庫 も 48-4)

本谷 有希子 著

講談社

優しいピアノ教師が見せた一瞬の狂気を描く「アウトサイド」、ボディビルにのめりこむ主婦の隠された想い「哀しみのウェイトレーニー」など、全 13 篇を収録した短篇集。

2015.5./ 200p

978-4-06-293114-4

本体 ¥460+税



読売新聞 2020/06/21



人間に向いてない(講談社文庫 く77-1)

黒澤 いづみ 著

講談社

子供を殺す前に。親に殺される前に。すべての「向いてない人」に捧ぐ、禁断の心理サスペンス。異形性変異症候群にかかり、一夜にしておぞましい芋虫に変貌した息子優一。それは母美晴の悩める日々の始まりでもあった…。

2020.5./ 383p

978-4-06-519784-4

本体 ¥760+税



読売新聞 2020/06/21



つかこうへい正伝～1968-1982～(新潮文庫 は-75-1)

長谷川 康夫 著

新潮社

時代を変えた天才演出家、つかこうへい。70 年代の“つかブーム”を共にした著者が、風間杜夫を始め関係者を徹底取材。怒濤の台詞が響き渡る“口立て”稽古、伝説の舞台、そして人間つかこうへいを鮮やかに描く。

2020.6./ 828p

978-4-10-102091-4

本体 ¥1,100+税



読売新聞 2020/06/21



カラヴァッジョ巡礼(とんぼの本)

宮下 規久朗 著

新潮社

17 世紀初頭のローマで、一世を風靡したバロック絵画の巨匠カラヴァッジョ。斬新な作品で賛否両論を巻き起こし、殺人の罪で逃亡生活を余儀なくされたその生涯を辿りつつ、現地に遺された作品を追う。

2010.1./ 127p

978-4-10-602200-5

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2020/06/21



KGB の男～冷戦史上最大の二重スパイ～

ベン・マッキンタイアー 著

中央公論新社

核戦争を回避させた老スパイは現在、英国で 24 時間警護を受けながら、名前も身分も偽り、孤独な生活を送っている。本人のインタビューと MI6 で工作に関わった面々の証言から、大胆にして危険極まりない諜報半生を辿る。

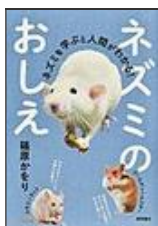
2020.6./ 492p

978-4-12-005310-8

本体 ¥2,900+税



読売新聞 2020/06/21



ネズミのおしえ～ネズミを学ぶと人間がわかる!～

篠原かをり 著

徳間書店

ネズミが笑うって知ってる? 人間関係、いじめ・ストレス、恋愛・健康・長生き、ダイエット...悩みや心配の解決のヒントをすべてネズミから学ぼう。ミステリーハンターで動物オタクの著者による偏愛エッセイ。

2020.4./ 201p

978-4-19-865060-5

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2020/06/21



12 歳の少女が見つけたお金のしくみ～小学 6 年生がやさしく解き明かした経済学の基本～

泉 美智子 著

宝島社

水、空気、命。身近なことをお金に換算したら、人の心と経済のつながりが見えてきた。全国小・中学生作品コンクールで文部科学大臣奨励賞を受賞した小学 6 年生のレポートから生まれた、楽しく学べるお金の基本超入門書。

2020.5./ 158p

978-4-299-00505-2

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2020/06/21



構造と力～記号論を超えて～

浅田彰 著

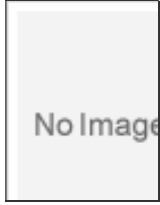
勁草書房

読売新聞 2020/06/21

1983:9./ 240p

978-4-326-15128-8

本体 ¥2,200+税



言語ゲームと社会理論～ヴィトゲンシュタイン・ハート・ルーマン～

橋爪大三郎 著

勁草書房

読売新聞 2020/06/21

1985:8.

978-4-326-15148-6

本体 ¥2,300+税



論理哲学論考(光文社古典新訳文庫 KB ウ 1-1)

ヴィトゲンシュタイン 著

光文社

語ることができないことについては、沈黙するしかない。現代哲学を一変させた 20 世紀を代表する哲学書を、オリジナルに忠実かつ平明に新訳。肩の力を抜いて読める新しい「論考」。

2014:1./ 35p,169p

978-4-334-75284-2

本体 ¥880+税



読売新聞 2020/06/21



怪異の表象空間～メディア・オカルト・サブカルチャー～

一柳廣孝 著

国書刊行会

日本の近現代は怪異とどう向き合ってきたのか。明治期の怪談の流行から 1970 年代のオカルトブーム、そして現代のポップカルチャーまで、今なお拡大し続ける「闇」の領域-怪異が紡いできた近現代日本の文化表象をたどる。

2020:3./ 360p,19p

978-4-336-06577-3

本体 ¥3,600+税



読売新聞 2020/06/21



ビートルズは終わらない

行方 均 著

シンコーミュージック・エンタテイメント

少年時代にビートルズに夢中になり、仕事でもビートルズに関わった男が今だからこそ語る、ビートルズの真実。月刊『ザ・ビートルズ』連載、英米日オリジナル・アルバム全 58 タイトル解説、新旧・英日ビートルズ対談を収録。

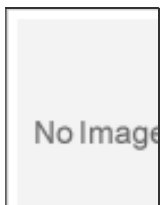
2020:5./ 367p

978-4-401-64924-2

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2020/06/21



新編洛中生息(ちくま文庫)

杉本秀太郎 著

筑摩書房

読売新聞 2020/06/21

1987:12./ 293p

978-4-480-02183-0

本体 ¥544+税





**ひとの居場所をつくる～ランドスケープ・デザイナー田瀬理夫さんの話をつうじて～
(ちくま文庫 に8-5)**

西村 佳哲 著

筑摩書房

屋外空間を設計するランドスケープ・デザイナー、田瀬理夫が取り組んできた遠野の試み、生まれ育った東京のこと、働き方などを紹介し、彼の経験と言葉を介して、これからの日本での暮らしや場づくりについて考える。

2020.5./ 274p

978-4-480-43663-4

本体 ¥860+税



読売新聞 2020/06/21



カラヴァッジョ《聖マタイの召命》～一枚の絵で学ぶ美術史～(ちくまプリマー新書 345)

宮下 規久朗 著

筑摩書房

バロックを代表する画家カラヴァッジョの名画「聖マタイの召命」。この謎の多い絵画に込められたメッセージを受け取ろう。美術をみる目を助ける基礎的かつ普遍的な知識を紹介する。西洋美術史の豊かな世界に誘う一冊。

2020.2./ 190p 図版
16p

978-4-480-68369-4

本体 ¥950+税



読売新聞 2020/06/21



月のケーキ

ジョーン・エイキン 著

東京創元社

月のケーキの材料は、桃にブランディにクリーム。タツノオトシゴの粉と、それから…。祖父の住む村を訪ねた少年の不思議な体験をえがく表題作など全 13 編を収録した、ちょっぴり不気味で幻想的な短編集。

2020.4./ 221p

978-4-488-01099-7

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2020/06/21



神さまとぼく～山下俊彦伝～

梅沢 正邦 著

東洋経済新報社

バブルで狂乱状態にあった家電市場、創業家を交えた人事抗争、グローバル化の進展と経営危機…。知られざる名経営者・山下俊彦を通して、パナソニックの絶頂からどん底までを描く。

2020.3./ 489p

978-4-492-50315-7

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2020/06/21



塀の中の事情～刑務所で何が起きているか～(平凡社新書 941)

清田 浩司 著

平凡社

今、塀の中では何が起きているか。塀の中でも老老介護、外国人受刑者、処遇困難者…塀の中はまさしく現代の日本社会を映す鏡である! 刑務所問題をライフワークとする記者が、刑務所事情を徹底取材する。

2020.5./ 441p

978-4-582-85941-6

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2020/06/21



法の概念 新装版

H.L.A.ハート、矢崎 光圀 著

みすず書房

法とは何か。法と道德の関連を考察し、第一次的ルールと第二次的ルールの結合から法体系を位置づける。法理学、法哲学の基本的著作として読み継がれている一冊。

2019.5./

10p,312p,14p

978-4-622-08821-9

本体 ¥4,400+税



読売新聞 2020/06/21



戦後オーストリアにおける犠牲者ナショナリズム～戦争とナチズムの記憶をめぐって～(明治大学人文科学研究叢書)

水野 博子 著
ミネルヴァ書房

第二次世界大戦後のオーストリアにおいて国民国家が形成されてきた歴史のプロセスを、現実政治と表象世界の両面から実証的にたどる。「犠牲者ナショナリズム」が「オーストリア国民」の形成をいかに推進したかを明らかにする。

2020:3./
11p,349p,39p
978-4-623-08862-1
本体 ¥7,500+税

読売新聞 2020/06/21



アフリカの森の女たち～文化・進化・発達の人類学～

大石 高典／ボニー・ヒューレット／服部 志帆 著
春風社

コンゴ盆地の女性たちが人類学者に語る、「女になること」の意味。その声をもとに、女性たちの子ども期から、思春期、結婚、母親期、祖母期、老いまでを論じ、彼女たちと地域の将来像に眼差しを向ける。

2020:4./ 414p
978-4-86110-682-8
本体 ¥3,100+税

読売新聞 2020/06/21



組紐ジグザグのマジック(LIXIL BOOKLET)

LIXIL出版

糸束を斜めに交差させてつくる「組紐」は、古くから仏事、武具、装束などと深く関わり発展してきた。日本における古今の伝統美と驚きの技を図版豊富に展覧し、強くしなやかな構造と繊細な意匠を明らかにする。

2020:3./ 71p
978-4-86480-529-2
本体 ¥1,800+税

読売新聞 2020/06/21



いのちをつなぐ動物園～生まれてから死ぬまで、動物の暮らしをサポートする～

京都市動物園生き物・学び・研究センター 編
小さ子社

京都市動物園を、7つのゾーンごとに動物たちの写真を交えて紹介。現在の動物園・水族館が直面する、世界の流れである「動物福祉」についての取り組みを伝えるとともに、動物園の課題に取り組んだ研究を解説する。

2020:4./ 171p
978-4-909782-04-5
本体 ¥1,800+税

読売新聞 2020/06/21



蓼食う人々

遠藤 ケイ 著
山と溪谷社

人は何をどう捕って、どう食べてきたのか。野兎やカラス、トウゴロウ(カミキリムシの幼虫)、岩茸、鮎、山椒魚、イナゴ、熊、ツチクジラなど、かつて私たちが享受した自然の恵みと原風景の記録と考察。

2020:5./ 335p
978-4-635-81016-6
本体 ¥1,500+税

読売新聞 2020/06/21、日本経済新聞 2020/06/27



中東テロリズムは終わらない～イラク戦争以後の混迷の源流～

村瀬 健介 著
KADOKAWA

中東発のテロリズムはなぜ終わらないのか? 過激派思想の伝道師への接触、謎の兵器供与ルートの追跡、CIAの元秘密工作員の苦悩…。TBS 前中東支局長が、思惑が交錯する混迷の地を訪ねた緊迫のノンフィクション。

2020:3./ 237p
978-4-04-108501-1
本体 ¥1,500+税

読売新聞 2020/06/28



法廷通訳人(角川文庫 ち 9-1)

丁 海玉 著

KADOKAWA

二十数年間にわたって韓国語の法廷通訳を務めてきた在日韓国人二世の著者が、法廷通訳の難しさ、裁判員裁判への移行、そして日韓の言語と文化の違いから生じるさまざまな出来事を描く、法廷ドキュメント。

2020/5./ 316p

978-4-04-108750-3

本体 ¥980+税



読売新聞 2020/06/28



お嬢さん(角川文庫)

三島 由紀夫 著

角川書店

大手企業重役の娘・藤沢かすみは 20 歳、健全で幸福な家庭のお嬢さま。休日になると藤沢家を訪れる父の部下たちは花婿候補だ。かすみが興味を抱いた沢井はプレイボーイで……「婚活」の行方は。初文庫化作品。

2010/4./ 286p

978-4-04-121214-1

本体 ¥600+税



読売新聞 2020/06/28



変身 改版(角川文庫)

フランツ・カフカ 著

角川書店

平凡なセールスマンのグレゴール・ザムザは或る朝、巨大な褐色の毒虫へと変じた自分を発見する……徹底的なリアリズムの手法によって、人類の苦悩を描き出す、カフカの代表作。

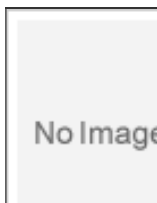
2007/6./ 223p

978-4-04-208306-1

本体 ¥390+税



読売新聞 2020/06/28



不道德教育講座

三島由紀夫 著

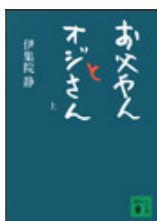
角川書店

読売新聞 2020/06/28

1995/4./ 331p

978-4-04-883400-1

本体 ¥1,300+税



お父さんとオジさん<上>(講談社文庫 い 63-23)

伊集院 静 著

講談社

学生時代に剣道の天覧試合に出場したオジさんは、両親とともに祖国へ引き揚げた。朝鮮戦争が激しさを増す中、山中に逃れた村の若者たちが北朝鮮軍に皆殺しにされる。密告を疑われたオジさんは、鶏小屋の下の穴倉に隠れるが…。

2012/3./ 429p

978-4-06-277182-5

本体 ¥676+税



読売新聞 2020/06/28



お父さんとオジさん<下>(講談社文庫 い 63-24)

伊集院 静 著

講談社

妻の両親と弟の窮状を知ったお父さんは、無謀にもひとりで戦場に乗り込むと言う。祖国の無惨に荒廃した山野、我が子を失った村人たちの怒り。お父さんは彼らを救い出すことができるのか？

2012/3./ 383p

978-4-06-277183-2

本体 ¥676+税



読売新聞 2020/06/28



社会と精神のゆらぎから

野田 正彰 著

講談社

若い世代に、先に逝った故人に、今、世界はどうなっているのか伝えてみよう。精神科医にしてノンフィクション作家である著者がふりかえる戦後史。2006?2007 年と2016?2019 年の『高知新聞』連載を書籍化。

2020.3./ 285p

978-4-06-519453-9

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2020/06/28



透明人間は 204 号室の夢を見る(集英社文庫 お 84-2)

奥田 亜希子 著

集英社

暗くて地味、コミュニケーション能力皆無の実緒。奇妙な片思いの先にあるのは破壊か、孤独か、それとも青春か。ふとしたきっかけで今までにない感情が生じ、新たな作品を生み出す女性作家のグレーな成長物語。

2020.5./ 200p

978-4-08-744109-3

本体 ¥540+税



読売新聞 2020/06/28



アナザー1964～パラリンピック序章～

稲泉 連 著

小学館

五輪とともにパラリンピックが開かれることになったのは約 1 年前。傷痍軍人や障害者らは突如「選手」として大会を目指すことになり…。選手たちのインタビューのほか、美智子妃、中村裕医師など大会を支えた人々の奮闘を描く。

2020.3./ 303p

978-4-09-388740-3

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2020/06/28



民警(小学館文庫 い 7-5)

猪瀬 直樹 著

小学館

この国を守るのは「官」ではない。テロに戦慄する現代日本と地続きの“知られざる”警備業の歴史とは? セコムとアルソックの 2 大民間警備会社の勃興と確執を照射する。

2020.6./ 221p

978-4-09-406779-8

本体 ¥620+税



読売新聞 2020/06/28



金閣寺 改版(新潮文庫)

三島 由紀夫 著

新潮社

ハンディを背負った宿命の子の、生への消しがたい呪いと、それゆえに金閣の美の魔力に魂を奪われ、ついには幻想と心中するにいたった悲劇…。31 歳の鬼才三島が全青春の決算として告白体の名文に綴った不朽の金字塔。

2003.5./ 375p

978-4-10-105008-9

本体 ¥670+税



読売新聞 2020/06/28



近代能楽集 改版(新潮文庫)

三島 由紀夫 著

新潮社

読売新聞 2020/06/28

2004.5./ 264p

978-4-10-105014-0

本体 ¥520+税





午後の曳航 改版(新潮文庫 み-3-15)

三島 由紀夫 著

新潮社

船乗り竜二の逞しい肉体と精神に憧れていた登は、母と竜二の抱擁を垣間見て愕然とする。矮小な世間とは無縁であった海の男が結婚を考え、陸の生活に馴染んでゆくとは…。大人の世界を許せない少年たちの心理を克明に描く。

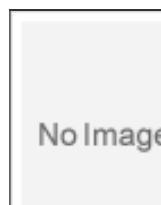
2013:4./ 202p

978-4-10-105015-7

本体 ¥460+税



読売新聞 2020/06/28



壁 改版(新潮文庫)

安部 公房 著

新潮社

読売新聞 2020/06/28

1991:1./ 265p

978-4-10-112102-4

本体 ¥550+税



第四間氷期 改版(新潮文庫)

安部 公房 著

新潮社

読売新聞 2020/06/28

2005:1./ 349p

978-4-10-112105-5

本体 ¥590+税



R62 号の発明・鉛の卵 改版(新潮文庫)

安部 公房 著

新潮社

読売新聞 2020/06/28

2004:6./ 364p

978-4-10-112109-3

本体 ¥590+税



砂の女 改版(新潮文庫)

安部 公房 著

新潮社

読売新聞 2020/06/28

2003:3./ 276p

978-4-10-112115-4

本体 ¥520+税



密会(新潮文庫)

安部公房 著

新潮社

読売新聞 2020/06/28

1983:5./ 254p

978-4-10-112117-8

本体 ¥520+税



古関裕而～流行作曲家と激動の昭和～(中公新書 2569)

刑部 芳則 著

中央公論新社

日中戦争中、軍歌「露営の歌」で一世を風靡し、戦後は「長崎の鐘」「オリンピック・マーチ」といった、流行歌やスポーツ音楽など数々の名曲を残した作曲家・古関裕而。戦争から復興まで、昭和史を音楽で彩った彼の生涯を辿る。

2019:11./ 4p,294p

978-4-12-102569-2

本体 ¥880+税



読売新聞 2020/06/28



蜂起<インティファダ>〜占領下のパレスチナ 1967-1993〜

鈴木 啓之 著
東京大学出版会

1987 年にパレスチナでなぜイスラエルに対する民衆蜂起(インティファダ)が起きたのか? パレスチナ人の抵抗の歴史と蜂起の背後にあった構造的な変化を、豊富な資料をもとにスリリングに描き出す。

2020:3./
5p,282p,115p
978-4-13-036301-3

本体 ¥5,800+税



読売新聞 2020/06/28



古関裕而の昭和史〜国民を背負った作曲家〜(文春新書 1256)

辻田 真佐憲 著
文藝春秋

日本人の欲望に応え続けた昭和のヒットメーカー・古関裕而。彼はいかなる人物だったのか、その作品は昭和史にいかなる役割を果たしたのか。古関裕而の生涯と激動の昭和を気鋭のメディア研究者が描きつくす。

2020:3./ 302p
978-4-16-661256-7

本体 ¥950+税



読売新聞 2020/06/28



ニューヨーク・タイムズが報じた 100 人の死亡記事

ウィリアム・マクドナルド 編
河出書房新社

死は、人生を呼び起こし、過去に光を当てる。リンカーン、ヒトラー、ステイブ・ジョブズ、マイケル・ジャクソンなど、近現代史を体現する 100 人の死亡記事を取りあげ、その生き様と死に様を紹介する。

2020:5./ 461p
978-4-309-20797-1

本体 ¥4,200+税



読売新聞 2020/06/28



ハワイ島で叶える 50 のこと

石川 結雨子 著
昭文社

キラウエア火山、隠れ家レストラン、ロコが作るアクセサリー…。ハワイ島在住のフォトグラファーが、おすすめスポットやグルメ、ショッピングなど、とっておきの情報を公開。データ:2019 年 10 月?2020 年 1 月現在。

2020:6./ 127p
978-4-398-14575-8

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2020/06/28



パトリックと本を読む〜絶望から立ち上がるための読書会〜

ミシェル・クオ 著
白水社

もっとも才能のあった教え子が罪を犯した。教え子パトリックとの面会のため拘置所に通う教師で法学生のみしゅ。ともに本を読むことで、貧困からくる悪循環にあえぐ青年の心に寄り添おうとする。自己発見と他者理解の記録。

2020:5./ 393p
978-4-560-09731-1

本体 ¥2,600+税



読売新聞 2020/06/28



ニコラエフスキの日本人虐殺〜一九二〇年、尼港事件の真実〜

アナトリー・グートマン 著
勉誠出版

ロシア革命後の、赤色パルチザンの実態とは? 1920 年にロシア極東のニコラエフスキ市で起きた日本人虐殺事件「尼港事件」の真実を、事件直後のロシア「調査委員会」報告と生き証人達の生々しい証言で明らかにする。

2020:4./ 20p,326p
978-4-585-22274-3

本体 ¥3,800+税



読売新聞 2020/06/28



谷根千のイロハ

森 まゆみ 著
亜紀書房

?外も漱石も暮らした町、谷中・根津・千駄木は、古代から人が住んだ場所。なつかしい街並みが残る谷根千を歩き、ゆかりある人々も取り上げながら、古代から現代まで通して語る愉快的歴史読本。

2020.2./ 226p

978-4-7505-1605-9

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2020/06/28



花森安治選集<1> 美しく着ることは、美しく暮すこと

花森 安治 著
暮しの手帖社

『暮しの手帖』の初代編集長・花森安治が、ペンの力で庶民の暮しをより良くしようと提言してきた散文、随筆、評論、コラムを厳選。1 は、昭和 21 年から 28 年までの、服飾を中心とした著述を集成。

2020.6./ 476p

978-4-7660-0216-4

本体 ¥3,600+税



読売新聞 2020/06/28



宿無し弘文〜スティーブ・ジョブズの禅僧〜

柳田 由紀子 著
集英社インターナショナル

スティーブ・ジョブズをはじめ、世界中の弟子たちが慕った禅師、乙川弘文。しかし彼は「破戒僧」でもあった! 一体弘文とは何者だったのか。その波乱万丈の人生に迫る。季刊『Kotoba』『新潟日報』連載を改稿し書籍化。

2020.4./ 325p,9p

978-4-7976-7382-1

本体 ¥1,900+税



読売新聞 2020/06/28



朝貢・海禁・互市〜近世東アジアの貿易と秩序〜

岩井 茂樹 著
名古屋大学出版会

中国近世の朝貢・海禁・互市という通商外交にかかわる制度は、どのような関係をもちながら変化していったのか。西洋とは異なる「もう一つの自由貿易」への構造変動を、日本の役割も含めて跡づけ、新たな歴史像を実証する。

2020.2./ 5p,409p,12p

978-4-8158-0984-3

本体 ¥5,400+税



読売新聞 2020/06/28



感情の歴史<第1巻> 古代から啓蒙時代まで

ジョルジュ・ヴィガレロ 編
藤原書店

「身体 of 歴史」「男らしさの歴史」に続く三部作「歴史の時空」シリーズ完結編。人類と共に存在する感情の歴史を探る。1 は、古代から啓蒙の時代までを取り上げ、古代ギリシアから西洋近代に至る一大パノラマを築き上げる。

2020.4./ 751p 図版

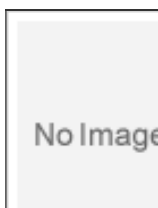
24p

978-4-86578-270-7

本体 ¥8,800+税



読売新聞 2020/06/28



白痴<上> 改版(岩波文庫)

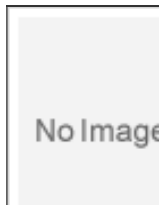
フョードル・ミハイロヴィチ・ドストエフスキー 著
岩波書店
日本経済新聞 2020/06/06

1994.3./ 627p

978-4-00-326138-5

本体 ¥1,200+税





白痴<下> 改版(岩波文庫)

フョードル・ミハイロヴィチ・ドストエフスキー 著
岩波書店
日本経済新聞 2020/06/06

1994:3./ 555p

978-4-00-326139-2

本体 ¥1,080+税



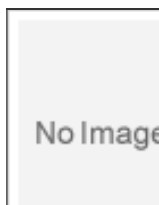
知的生産の技術(岩波新書)

梅棹忠夫 著
岩波書店
日本経済新聞 2020/06/06

1969:7./ 218p

978-4-00-415093-0

本体 ¥840+税



青春とは、心の若さである。(角川文庫)

サムエル・ウルマン 著
角川書店

年を重ねただけでは人は老いない。人は理想を失うとき初めて老いる。温かな愛に満ち、生を讃える詩の数々。困難な時代の指針を求めるすべての人へ贈る、珠玉の詩集。

1996:6./ 188p

978-4-04-269501-1

本体 ¥480+税



日本経済新聞 2020/06/06



天使と悪魔<上>(角川文庫)

ダン・ブラウン 著
角川書店
日本経済新聞 2020/06/06

2006:6./ 331p

978-4-04-295501-6

本体 ¥640+税



天使と悪魔<下>

ダン・ブラウン 著
角川書店

新ローマ教皇選挙会の当日、次期教皇候補 4 人が揃って失踪した。その鍵が 17 世紀に書かれた詩に隠されていることに気付いたラングドン、知力と体力の限りを尽くして、姿なき敵が仕掛けた殺人ゲームに挑む...

2003:10./ 349p

978-4-04-791457-5

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2020/06/06



なぜ僕らは働くのか～君が幸せになるために考えてほしい大切なこと～

佳奈 著
学研プラス

仕事ってなんだ? どうやって働く? 働くことの意味、生活にかかるお金、勉強することの意味、やりたいことの見つけ方などを、マンガを豊富に交えてわかりやすく解説する。

2020:3./ 227p

978-4-05-205171-5

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2020/06/06



僕たちはなぜ働くのか～これからのキャリア、生き方を考える本～<上>

池上 彰 著
学研プラス

「仕事ってなんだ?」「どうやって働く?」働くことの意味や、これからのキャリア、生き方について、マンガを豊富に交えてわかりやすく解説する。コラム「働く人の声」も収録。

2019:2./ 111p
978-4-05-501265-2
本体 ¥4,500+税

日本経済新聞 2020/06/06



僕たちはなぜ働くのか～これからのキャリア、生き方を考える本～<下>

池上 彰 著
学研プラス

「幸せに働くってどういうこと?」働くことの意味や、これからのキャリア、生き方について、マンガを豊富に交えてわかりやすく解説する。コラム「働く人の声」、おすすめのキャリア本も収録。

2019:2./ 111p
978-4-05-501266-9
本体 ¥4,500+税

日本経済新聞 2020/06/06



新しい中世～相互依存の世界システム～(講談社学術文庫 2441)

田中 明彦 著
講談社

冷戦の終焉、覇権の衰退、経済相互依存の進展は何をもたらすのか。移行期にある世界を独自の視点で分析。ヨーロッパ中世になぞらえた「新しい中世」の概念を駆って、ポスト近代の世界システムの構想に理論と実証で迫る。

2017:8./ 344p
978-4-06-292441-2
本体 ¥1,130+税

日本経済新聞 2020/06/06



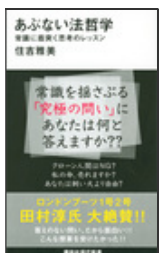
タイタン

野崎 まど 著
講談社

AI「タイタン」により社会が平和に保たれた未来。人類は<仕事>から解放され自由を謳歌していた。しかし心理学を趣味とする内匠成果のもとに訪れた、世界で一握りの就労者ナイレンが告げる。「貴方に<仕事>を頼みたい」。

2020:4./ 377p
978-4-06-517715-0
本体 ¥1,800+税

日本経済新聞 2020/06/06



あぶない法哲学～常識に盾突く思考のレッスン～(講談社現代新書 2571)

住吉 雅美 著
講談社

クローン人間の作製は NG? 私には「誰かに食べられる自由」がある? 社会に飼い慣らされないための「悪魔の法哲学」教室。哲学的な視点で法律や常識を批判的に再検討する。青山学院大学法学部での講義をベースに新書化。

2020:5./ 269p
978-4-06-519377-8
本体 ¥900+税

日本経済新聞 2020/06/06



ローマ人の物語<8> ユリウス・カエサル ルビコン以前(上)(新潮文庫)

塩野 七生 著
新潮社

日本経済新聞 2020/06/06

2004:8./ 215p
978-4-10-118158-5
本体 ¥490+税



ローマ人の物語<9> ユリウス・カエサル ルビコン以前(中)(新潮文庫)

塩野 七生 著

新潮社

日本経済新聞 2020/06/06

2004:8./ 279p

978-4-10-118159-2

本体 ¥520+税



ローマ人の物語<10> ユリウス・カエサル ルビコン以前(下)(新潮文庫)

塩野 七生 著

新潮社

日本経済新聞 2020/06/06

2004:8./ 236p

978-4-10-118160-8

本体 ¥490+税



ローマ人の物語<11> ユリウス・カエサル ルビコン以後(上)(新潮文庫)

塩野 七生 著

新潮社

日本経済新聞 2020/06/06

2004:9./ 301p

978-4-10-118161-5

本体 ¥550+税



ローマ人の物語<12> ユリウス・カエサル ルビコン以後(中)(新潮文庫)

塩野 七生 著

新潮社

日本経済新聞 2020/06/06

2004:9./ 218p

978-4-10-118162-2

本体 ¥490+税



ローマ人の物語<13> ユリウス・カエサル ルビコン以後(下)(新潮文庫)

塩野 七生 著

新潮社

日本経済新聞 2020/06/06

2004:9./ 234p,12p

978-4-10-118163-9

本体 ¥520+税



「第三者委員会」の欺瞞～報告書が示す不祥事の呆れた後始末～ (中公新書ラクレ 685)

八田 進二 著

中央公論新社

不祥事のたびに発足する「第三者委員会」。だが真相究明どころか身の潔白を証明するための“禊”のツールとして機能している。第三者委員会報告書格付け委員会委員の著者が、過去の報告書を分析し、その正体を明らかにする。

2020:4./ 253p

978-4-12-150685-6

本体 ¥860+税



日本経済新聞 2020/06/06



日本の未来へ～司馬遼太郎との対話～

梅棹 忠夫 著

NHK出版

日本人は志を喪失したのではないか?歴史の旅人・司馬遼太郎 vs 文明のフィールドワーカー・梅棹忠夫、ふたりの「知の巨人」が語り尽くす、日本の「これまで」と「これから」。

2000:6./ 299p

978-4-14-080502-2

本体 ¥1,200+税



日本経済新聞 2020/06/06



ディズニーCEOが実践する 10 の原則

ロバート・アイガー 著

早川書房

ABC テレビの雑用係は、いかにしてディズニーのトップに上りつめたのか。総額 9 兆円に及ぶ買収劇は、いかにして成し遂げられたのか。ウォルト・ディズニー・カンパニー会長・前 CEO が、自身の半生と成功哲学を語りつくす。

2020/4./ 353p

978-4-15-209933-4

本体 ¥2,100+税



日本経済新聞 2020/06/06



故郷喪失の時代

小林 敏明 著

文藝春秋

あの日以来、ずっとフクシマのことを考えてきた。3・11 で露呈された現代日本の抛り所のなさ。遠くドイツ在住の著者が、近代日本が失ったものを豊富な文学テキストから解き明かす。深い哀しみとともに綴られる思索の旅。

2020/4./ 358p

978-4-16-391197-7

本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2020/06/06



コンテンポラリー・ダンスの現在～ノン・ダンス以後の地平～

越智 雄磨 著

国書刊行会

1990 年代半ば、それまでのダンスの慣習的なコードを拒絶し、大きな議論を巻き起こした「ノン・ダンス」。これらを巡る考察を通して、変容し続けるコンテンポラリーダンスの現在を明らかにする。

2020/3./ 249p

978-4-336-06655-8

本体 ¥4,000+税



日本経済新聞 2020/06/06



13 歳のハローワーク

村上 龍、はまの ゆか 著

幻冬舎

これからの時代、大好きなことを職業として考えてみませんか?動物、スポーツ、映画、音楽、料理など、いろいろな「好き」を入口に 514 種の職業を紹介。派遣、起業、資格など、雇用の現状をすべて網羅した仕事の百科全書。

2003/11./ 455p

978-4-344-00429-0

本体 ¥2,600+税



日本経済新聞 2020/06/06



プリズン・ドクター～Rookie medical officer Dr.Korenaga～(幻冬舎文庫 い-63-1)

岩井 圭也 著

幻冬舎

刑務所の医者になった史郎は、患者にナメられ助手に怒られ、憂鬱な日々を送っていた。ある日、自殺を予告した受刑者が変死。自殺か、病死か? 所長命令を受け、史郎は美人研究員・有島に検査を依頼するが…。医療ミステリ。

2020/4./ 389p

978-4-344-42958-1

本体 ¥790+税



日本経済新聞 2020/06/06



梅棹忠夫の「日本人の宗教」

中牧弘允 編

梅棹忠夫 著

淡交社

生前に執筆が叶わなかった梅棹忠夫の「日本人の宗教」。中牧弘允は、残された「こざね」と称する紙片から、梅棹がどのような本をつくろうとしていたのか追跡、推理する。ほかに「宗教の比較文明論」、対談などを収録。

2020/4./ 239p

978-4-473-04398-6

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2020/06/06



針の眼(創元推理文庫)

ケン・フォレット、戸田 裕之 著

東京創元社

第二次大戦下、史上最大の上陸作戦を成功に導いた、知られざる「英雄」の物語。
アメリカ探偵作家クラブ(MWA)最優秀長編賞に輝いた、冒険スパイ小説不動の名作。

日本経済新聞 2020/06/06

2009:2./ 488p

978-4-488-12903-3

本体 ¥1,300+税



?と拡散の世紀～「われわれ」と「彼ら」の情報戦争～

ピーター・ボメラントツェフ 著

原書房

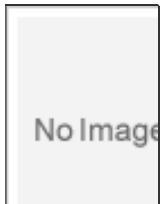
世界は?が個人の内面に一瞬で侵入する時代に突入した。偽情報はいかに生み出され、深刻な対立を招くのか。キエフ出身の英国人ジャーナリストが、米中ほか世界各地、特に祖国ウクライナとロシアについて詳述する。

日本経済新聞 2020/06/06

2020:3./ 289p

978-4-562-05751-1

本体 ¥2,500+税



なぜ国家は衰亡するのか(PHP 新書)

中西 輝政 著

PHP研究所

文明の衰亡は必然であり、逃れる道はないのか。ローマ帝国、ビザンチン帝国、大英帝国、アメリカ、中国、江戸時代の日本など、独自の世界を確立した大国の興亡を描き、文明衰退の理を歴史の教訓から導き出す。〈ソフトカバー〉

日本経済新聞 2020/06/06

1998:11./ 237p

978-4-569-60311-7

本体 ¥657+税



ハーレム・チルドレンズ・ゾーンの挑戦～貧乏人は教育で抜け出せるのか?～

ポール・タフ 著

みすず書房

教育で貧しい子供のたどる軌道を変える。地域の子供を一人として取りこぼすことのないような、密に編まれたセーフティネットを用意することを目指した NPO の実践を紹介する。

日本経済新聞 2020/06/06

2020:5./ 321p,11p

978-4-622-08898-1

本体 ¥4,500+税



家康の猛き者たち～三方ヶ原合戦録～(ハルキ文庫 時代小説文庫 さ 22-3)

佐々木功 著

角川春樹事務所

徳川家を強くするため、要となる人物は本多平八郎忠勝しかいない。徳川家康はそう考え…。愛槍「蜻蛉切」を操る徳川軍団随一の無双の勇士・本多平八郎忠勝を描いたエンタテインメント歴史時代小説。

日本経済新聞 2020/06/06

2020:4./ 453p

978-4-7584-4332-6

本体 ¥860+税



データで見る行動経済学～全世界大規模調査で見えてきた「ナッジ (NUDGES)の真実」～

キャス・サンステイーン／ルチア・ライシュ 著

日経BP社

ナッジとは、選択する自由を残しながら、人々を特定の方向に導く介入のこと。どのようにナッジを活用すれば、人々が自身の選択に納得感を持ち、満足できるのか。ナッジを上手に活用していくための基本原則を紹介する。

日本経済新聞 2020/06/06

2020:4./ 285p

978-4-8222-8883-9

本体 ¥2,500+税





漫画君たちはどう生きるか

吉野源三郎 著
マガジンハウス

自分の生き方を決定できるのは、自分だけだ。人間としてあるべき姿を求め続ける、コペル君と叔父さん-。「子どもたちに向けた哲学書であり、道徳の書」として読み継がれてきた歴史的名著を漫画化。テキスト版も同時刊行。

2017:8./ 334p

978-4-8387-2947-0

本体 ¥1,300+税



日本経済新聞 2020/06/06



「勤労青年」の教養文化史(岩波新書 新赤版 1832)

福岡 良明 著
岩波書店

勤労青年たちが抱いていた「読書や勉学を通じて真実を模索し、人格を磨かなければならない」という価値観は、なぜ広く共有されえたのか。いつ、なぜ消失したのか。地域差やメディアも視野に入れ、複雑な力学を解明する。

2020:4./ 3p,296p

978-4-00-431832-3

本体 ¥900+税



日本経済新聞 2020/06/06、東京・中日新聞 2020/06/21



業平〜小説伊勢物語〜

高樹 のぶ子 著

日本経済新聞出版社

美しい要望と色好みで知られる在原業平の一代記。千年前から読み継がれる歌物語の沃野に分け入り、小説に紡ぐことで日本の美の源流が立ち現れた。『日本経済新聞』連載を単行本化。

2020:5./ 458p 図版
16p

978-4-532-17156-8

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2020/06/06、毎日新聞 2020/06/06



証言戦後日中関係秘史

天児 慧／高原 明生／菱田 雅晴 編
岩波書店

戦後日中関係の土台作りに貢献した人々、両国関係の改善と発展のために奔走した人々…。経済、政治、文化などの分野で活躍した日本人 10 人へのインタビューを通して、戦後日中関係の深みと多様さを明らかにする。

2020:3./

13p,286p,24p

978-4-00-061401-6

本体 ¥2,700+税



日本経済新聞 2020/06/13



習近平と永楽帝〜中華帝国皇帝の野望〜(新潮新書 730)

山本 秀也 著
新潮社

血筋の良さ、権力掌握前の苦節、苛烈な政敵排除、対外拡張…。漢民族最後の帝国であった明の 3 代目・永楽帝と習近平には、意外なほど共通点がある。歴史を踏まえて現代中国の核心に迫る。

2017:8./ 223p

978-4-10-610730-6

本体 ¥760+税



日本経済新聞 2020/06/13



流人道中記<上>

浅田 次郎 著
中央公論新社

姦通の罪で奉行所に切腹を言い渡されたが、それを拒んで蝦夷へ流罪となった旗本・青山玄蕃。ろくでなしでありながら、道中で行き会う弱き者を決して見捨てぬ心意気があり…。『読売新聞』連載を単行本化。

2020:3./ 371p

978-4-12-005262-0

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2020/06/13



流人道中記<下>

浅田 次郎 著

中央公論新社

流人・青山玄蕃と押送人・石川乙次郎は、奥州街道の終点、三厩を目指し歩みを進める。旅路の果てで明らかになる、玄蕃の抱えた罪の真実。武士の鑑である男が、恥を晒して生きる道を選んだのは。『読売新聞』連載を単行本化。

日本経済新聞 2020/06/13

2020.3./ 294p

978-4-12-005263-7

本体 ¥1,700+税



中国の行動原理～国内潮流が決める国際関係～(中公新書 2568)

益尾 知佐子 著

中央公論新社

世界各国と軋轢を起こす中国。その特異な言動は、世界覇権への野心や中華思想などでは説明できない。彼らのルールを、民族特有の家族観、社会の秩序意識、政経分離のカメラ体制、国内の政治闘争から解明する。

日本経済新聞 2020/06/13

2019.11./ 5p,306p

978-4-12-102568-5

本体 ¥920+税



日本の航空産業～国産ジェット機開発の意味と進化するエアライン・空港・管制～(中公新書 2588)

洪武 容 著

中央公論新社

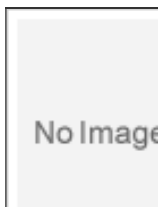
大競争時代のエアライン、熾烈な開発競争を繰り広げる完成機メーカー、魅力高めようとする空港、安全を追求する整備や管制など、航空に関連する産業の現状と課題を広く取り上げる。東京大学の人気講義を基に書籍化。

日本経済新聞 2020/06/13

2020.4./ 6p,255p

978-4-12-102588-3

本体 ¥900+税



秘境西域八年の潜行<下巻>(中公文庫)

西川一三 著

中央公論新社

日本経済新聞 2020/06/13

1991.1./ 657p

978-4-12-201773-3

本体 ¥1,165+税



米中海戦はもう始まっている～21 世紀の太平洋戦争～

マイケル・ファベイ、赤根 洋子 著

文藝春秋

中国艦が米軍艦に異常接近、南シナ海の岩礁を次々と略奪する中国…。進出を続ける中国と、アジア太平洋地域でプレゼンスを維持するアメリカとの間で実際に起きた、2000 年代以降の非常に緊迫した海上事件を紹介する。

日本経済新聞 2020/06/13

2018.1./ 342p

978-4-16-390793-2

本体 ¥1,800+税



コンビニ人間(文春文庫 む 16-1)

村田 沙耶香 著

文藝春秋

36 歳未婚女性、古倉恵子。大学卒業後も就職せず、コンビニのバイトは 18 年目。これまで彼女なし。ある日、婚活目的の新入り男性、白羽がやってきて、そんなコンビニの生き方は恥ずかしいと突きつけられるが…。

日本経済新聞 2020/06/13

2018.9./ 168p

978-4-16-791130-0

本体 ¥580+税





米中戦争前夜～新旧大国を衝突させる歴史の法則と回避のシナリオ～

グレアム・アリソン、藤原 朝子 著

ダイヤモンド社

アメリカと中国の間で、熾烈な覇権争奪の国際政治が生まれつつある。米国防長官顧問を務めたハーバード・ケネディスクール初代学長が、米中戦争突入の5つのシナリオと、回避する4つの戦略オプションを提示する。

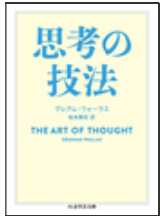
2017:11./ 22p,399p

978-4-478-10331-9

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2020/06/13



思考の技法(ちくま学芸文庫 ウ 32-1)

グレアム・ウォーラス 著

筑摩書房

あらゆる知的創造は<準備、培養、発現、検証>というプロセスを踏むことで生み出される。人間がもつ思考の可能性を最大限活用し、「ひらめき」を意識的に生み出すような方法とはどのようなものか。そのメカニズムを究明する。

2020:5./ 348p

978-4-480-09977-8

本体 ¥1,200+税



日本経済新聞 2020/06/13



最初のテロリスト カラコゾフ～ドストエフスキーに靈感を与えた男～

クラウディア・ヴァーホーヴェン 著

筑摩書房

1866年4月4日、ロシア皇帝アレクサンドル2世が銃撃された。犯人はドミートリー・カラコゾフ。事件の真相を探り、テロリズムの誕生と近代の特異性を描き、ドストエフスキーに与えた影響などを検証する。

2020:3./ 379p,7p

978-4-480-85819-1

本体 ¥3,400+税



日本経済新聞 2020/06/13



平等社会～経済成長に代わる、次の目標～

リチャード・ウィルキンソン、ケイト・ピケット 著

東洋経済新報社

人は格差社会で満たされるのか?健康問題や社会問題の大半は、格差が大きい社会で、より深刻だ。充実した生活は、格差の小さい、より平等な社会から生まれる。のべ50年にわたる研究の成果を明らかにする。

2010:3./ 313p,32p

978-4-492-22302-4

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2020/06/13



格差は心を壊す～比較という呪縛～

リチャード・ウィルキンソン／ケイト・ピケット 著

東洋経済新報社

私たちを追い詰める“他人の目”という呪縛。激しい格差は人類の競争本能を暴走させ、環境も破壊する。地球の破滅を防ぐために何ができるか。500超の文献と国際比較データを駆使し、誰もが幸せな社会を構想する。

2020:4./ 7p,434p,52p

978-4-492-31526-2

本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2020/06/13



地下鉄の駅はものすごい(平凡社新書 942)

渡部 史絵 著

平凡社

駅は複雑な地下世界への入口だ! 地下鉄建設の驚きの技術の大解剖するとともに、地下鉄の駅のデザイン、構造や設計にスポットライトを当てて紹介。東京メトロ・都営地下鉄を中心に、全国の地下鉄の駅の仕組みと進化に迫る。

2020:5./ 261p

978-4-582-85942-3

本体 ¥960+税



日本経済新聞 2020/06/13



China 2049～秘密裏に遂行される「世界覇権 100 年戦略」～

マイケル・ピルズベリー、野中 香方子 著

日経BP社

米国を出し抜き、2049 年に世界制覇を握るための秘密戦略、中国「100 年マラソン」の全貌とは。親中派だった著者が中国の軍事戦略研究の第一人者となり、世界の覇権を目指す中国の長期的戦略に警鐘を鳴らすまでを描く。

日本経済新聞 2020/06/13

2015/9./ 438p

978-4-8222-5104-8

本体 ¥2,000+税



WHO YOU ARE～君の真の言葉と行動こそが困難を生き抜くチームをつくる～

ベン・ホロウィッツ／ヘンリー・ルイス／ゲイツ・ジュニア／辻 庸介 著

日経BP社

シリコンバレーのスター経営者に慕われる最強投資家が、武士道、ハイチの指導者、チンギス・ハンなどに学んだ最強文化のつくり方。歴史上のリーダーたちが逆境を越え、強い文化をつくるために使ったテクニックを紹介する。

日本経済新聞 2020/06/13

2020/4./ 310p

978-4-8222-8881-5

本体 ¥1,800+税



罪と罰～ソーニャ、その哀しみと愛～

ドストエフスキー／ひらはら しだれ 著

興陽館

ドストエフスキーを美麗漫画で読む。熱き情熱のままに恋をし、愛憎を重ね苦悩したドストエフスキーの愛にまつわる壮大な物語。代表作「罪と罰」、処女作「貧しき人々」と「地下室の手記」の漫画化作品を収録。

日本経済新聞 2020/06/13

2020/4./ 195p

978-4-87723-255-9

本体 ¥1,000+税



炎上 CM でよみとくジェンダー論(光文社新書 1068)

瀬地山 角 著

光文社

炎上する広告には必ず理由があり、近年その多くがジェンダーへの無理解を背景としている。炎上の構造を 4 つの象限で捉え直し、批判を受けた CM について考察する。

日本経済新聞 2020/06/13、朝日新聞 2020/06/20、読売新聞 2020/06/28

2020/5./ 263p

978-4-334-04469-5

本体 ¥820+税



「深層」カルロス・ゴーンとの対話～起訴されれば 99%超が有罪になる国で～

郷原 信郎 著

小学館

稀代の名経営者は強欲な独裁者か、あるいは日本的社内抗争の餌食か? 日産元会長カルロス・ゴーンにインタビューした元特捜検事が、日産、検察、政府関係者に関する全証言から見てきた事件の“深層”に迫る。

日本経済新聞 2020/06/13、東京・中日新聞 2020/06/21

2020/4./ 319p

978-4-09-388765-6

本体 ¥1,700+税



日本のお弁当文化～知恵と美意識の小宇宙～

権代 美重子 著

法政大学出版局

百姓や雑兵の携行食、観劇のお供の幕の内、各地の名産の詰まった駅弁、松花堂や禅林の心得、現代のキャラ弁…。庶民のエネルギー源であり美意識の表現でもあったお弁当の歴史を、器や食の作法の伝統に注目しながら語り下ろす。

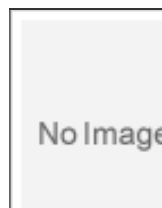
日本経済新聞 2020/06/13、読売新聞 2020/06/28

2020/4./ 252p

978-4-588-30052-3

本体 ¥2,200+税





摘録断腸亭日乗<下>(岩波文庫 緑 42-1)

磯田 光一 編
永井 荷風 著
岩波書店

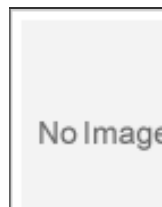
読む者を捕えてはなさぬ荷風日記の魅力を「あとを引く」面白さでもいおうか。そういう日記の、ではどのあたりが最も精彩に富むかといえば、その一つとして戦中の記事をあげねばなるまい。

日本経済新聞 2020/06/13、毎日新聞 2020/06/27

1987.8./ 426p

978-4-00-310421-7

本体 ¥910+税



銀の匙 改版(岩波文庫)

中 勘助 著
岩波書店
日本経済新聞 2020/06/20

1999.5./ 227p

978-4-00-310511-5

本体 ¥600+税



教育は何を評価してきたのか(岩波新書 新赤版 1829)

本田 由紀 著
岩波書店

日本社会が息苦しい原因は、教育をめぐる磁場にあった。能力・資質・態度という言葉に注目し、戦前から現在までの日本の教育言説を分析することで、格差と不安に満ちた社会構造から脱却する道筋を示す。

日本経済新聞 2020/06/20

2020.3./ 8p.253p

978-4-00-431829-3

本体 ¥840+税



スティーブ・ジョブズ<1>(講談社+α 文庫 G260-1)

ウォルター・アイザックソン 著
講談社

未来を創った、今世紀を代表する経営者スティーブ・ジョブズが、積極的かつ全面的に取材に協力した評伝。1 は子ども時代、リード・カレッジ進学、インド放浪、アップル誕生、マックの開発力などについて記す。

日本経済新聞 2020/06/20

2015.9./ 570p

978-4-06-281614-4

本体 ¥850+税



スティーブ・ジョブズ<2>(講談社+α 文庫 G260-2)

ウォルター・アイザックソン 著
講談社

未来を創った、今世紀を代表する経営者スティーブ・ジョブズが、積極的かつ全面的に取材に協力した評伝。2 はアップルへの再臨、iPhone や iPad の発表、家族の絆、ビル・ゲイツとの最後の対面などについて記す。

日本経済新聞 2020/06/20

2015.9./ 561p

978-4-06-281615-1

本体 ¥850+税



モンゴルの二十世紀～社会主義を生きた人びとの証言～(中公叢書)

小長谷 有紀 著
中央公論新社

1924 年、世界で 2 番目の社会主義国「モンゴル人民共和国」誕生。そして 92 年、「人民共和」の 4 文字が消えた。草原の悠久の歴史の中で、モンゴルにとって 20 世紀とは何だったのだろうか。草原の民の激動と実験の一世紀。

日本経済新聞 2020/06/20

2004.8./ 254p

978-4-12-003546-3

本体 ¥1,700+税





平成の経済政策はどう決められたか～アベノミクスの源流をさぐる～(中公選書 107)

土居 丈朗 著
中央公論新社

伊藤隆敏、岩田一政、大田弘子、竹中平蔵、吉川洋。小泉内閣以降、経済政策の立案に加わった 5 人の経済学者との対談を通じて得た現場での議論を踏まえ、第 2 次以降の安倍内閣の経済政策の核心に迫り、今後の課題をあぶり出す。

2020/5./ 7p,352p

978-4-12-110107-5

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2020/06/20



画狂人北斎(河出文庫 せ 4-1)

瀬木 慎一 著
河出書房新社

北斎には、今なお解き明かされない大きな謎がある。疑わしい諸点を極力払いのけ、事実面に照らしてあらゆる細部を再検討し、不明や空白の謎を解明すべく、北斎像を新たに組み立てる。時代を超越した天才浮世絵師の真実に迫る。

2020/5./ 197p

978-4-309-41749-3

本体 ¥760+税



日本経済新聞 2020/06/20



ペンギンが空を飛んだ日～IC 乗車券・Suica が変えたライフスタイル～(交通新聞社新書 058)

椎橋 章夫 著
交通新聞社

鉄道の長い歴史に大いなる変革をもたらした IC 乗車券、Suica。誰からも期待されていなかったこのプロジェクトは、いかにして成功していったのか。進化する Suica を創成期から支えてきた著者が明かす、激闘の記録。

2013/8./ 230p

978-4-330-39513-5

本体 ¥800+税



日本経済新聞 2020/06/20



DOPE SICK～アメリカを蝕むオピオイド危機～

ベス・メイシー 著
光文社

年間死亡者数、数万人。プリンス、トム・ペティらの命を奪い、タイガー・ウッズも見舞われたオピオイド(鎮痛薬)禍。麻薬密売人と医師、そして製薬会社による薬物汚染の驚くべき実態を暴いたノンフィクション。

2020/2./ 484p

978-4-334-96238-8

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2020/06/20



英国バレエの世界

山本 康介 著
世界文化社

元バーミンガム・ロイヤル・バレエのファーストソリストが、バレエとの出会いから現在までを語り、英国バレエの歴史や最旬事情を紐解く。英国のおすすめ演目徹底解説も掲載。レッスン動画が視聴できる QR コード付き。

2020/3./ 222p

978-4-418-20202-7

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2020/06/20



現場力～強い日本企業の秘密～(ちくま新書 1494)

光山 博敏、中沢 孝夫 著
筑摩書房

日本企業の技術開発は現場で行われてきたものであり、リーダーが計画できるものではない。真に競争力のある企業が持っている現場力とはなんなのか。ドイツ、タイ、日本のものづくりの現場を歩き、日本企業の強さの秘密に迫る。

2020/5./ 219p

978-4-480-07312-9

本体 ¥800+税



日本経済新聞 2020/06/20



AI 世界秩序～米中が支配する「雇用なき未来」～

李開復 著

日本経済新聞出版社

雇用消滅と社会混乱をどう生き延びるか?! AI 時代、世界中の富と雇用と税収はアメリカと中国の巨大 IT 企業に吸い上げられ、他国は隷属の道を歩む…。中国 IT 業界の先駆者である著者が、来たるべき新しい世界秩序を描く。

2020/4./ 310p

978-4-532-17658-7

本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2020/06/20



フェアブル昆虫記(ポプラ世界名作童話 14)

J.H.フェアブル、伊藤 たかみ、大庭 賢哉 著

ポプラ社

フンコロガシ、カリバチ、セミ…。昆虫たちの暮らしや魅力を、好奇心旺盛なフェアブルが生き生きと伝える昆虫記。世界中で愛され読みつがれてきた名作を、現代の児童文学作家が読みやすく再構成。

2016/11./ 133p

978-4-591-15180-8

本体 ¥1,000+税



日本経済新聞 2020/06/20



ランスへの帰郷

ディディエ・エリボン／三島 憲一 著

みすず書房

パリの知識人となった著者は、父の死を機に数十年ぶりに帰郷する。なぜ出自を恥じ、家族から離反しなければならなかったのか。自伝の形をとりながら、階級社会、右傾化などについて鋭く考察する。仏独ベスト&ロングセラー。

2020/5./ 257p

978-4-622-08897-4

本体 ¥3,800+税



日本経済新聞 2020/06/20



さらば健康食神話～フードファディズムの罠～

アラン・レヴィノヴィッツ 著

地人書館

太ったり、心臓発作が増えたりする原因は、何を食べるかよりも、いかに食べるかだ。食べ物について広く信じられている「ニセ科学」を、徹底的かつ綿密な調査をもとに分析し、?を見抜き、だまされないための処方箋を提供する。

2020/5./ 375p

978-4-8052-0941-7

本体 ¥3,000+税



日本経済新聞 2020/06/20



宅地の防災学～都市と斜面の近現代～(学術選書 090)

釜井 俊孝 著

京都大学学術出版会

人の営みで変化した土地がいま何を?している。都市づくりと土砂災害の関係史を辿ることこそが防災の基礎。宅地のどこに地すべりの危険が潜むか、斜面災害の芽はどう生み出されるのかを解き明かし、次世代の防災を考える。

2020/4./ 11p,326p

978-4-8140-0252-8

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2020/06/20



最初に夜を手ばなした

椿 冬華 著

マガジンハウス

夜も昼もテレビも本も手ばなしてきた。でも、わたしはできなくなったからといって、諦めなかった。弱視ろうである著者が、自身の半生を絵と文章で綴る。Twitter に投稿した絵に加筆修正して書籍化。

2020/3./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-8387-3087-2

本体 ¥1,200+税



日本経済新聞 2020/06/20



じんかん

今村 翔吾 著
講談社

天正 5 年のある晩、織田信長のもとへ急報が。信長に忠誠を尽くしていたはずの松永久秀が 2 度目の謀叛を企てたという。だが、意外にも信長は笑みを浮かべ、語り出したのは…。『小説現代』掲載に加筆修正し単行本化。

2020:5./ 509p

978-4-06-519270-2

本体 ¥1,900+税



日本経済新聞 2020/06/20、産経新聞 2020/06/21、朝日新聞 2020/06/27



<美しい本>の文化誌～装幀百十年の系譜～

臼田 捷治 著

Book&Design

「美しい本」とは何か? 明治から令和へと続く日本の造本文化を支えてきた装幀家、編集者、画家らの仕事でたどる、日本近代装幀文化史。橋口五葉、小村雪岱、齋藤昌三、花森安治、藤田嗣治、東郷青児ほかを取り上げる。

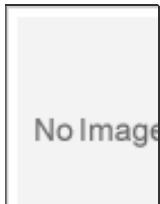
2020:4./ 318p 図版
16p

978-4-909718-03-7

本体 ¥3,000+税



日本経済新聞 2020/06/20、朝日新聞 2020/06/27



シュムペーター経済発展の理論<上>(岩波文庫 白 147-1)

ヨゼフ・アロイス・シュンペーター 著

岩波書店

資本主義経済過程を循環－発展の二段階的に把握し、革新・新結合という経済内部の自発的な発展力に着目し、信用・資本・利子・利潤・景気循環などの問題を統一的に解明する。

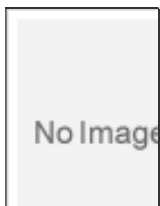
1977:9./ 362p

978-4-00-341471-2

本体 ¥970+税



日本経済新聞 2020/06/27



シュムペーター経済発展の理論<下>(岩波文庫 白 147-2)

ヨゼフ・アロイス・シュンペーター 著

岩波書店

資本主義経済過程を循環－発展の二段階的に把握し、革新・新結合という経済内部の自発的な発展力に着目し、信用・資本・利子・利潤・景気循環などの問題を統一的に解明する。

1977:11./ 275p

978-4-00-341472-9

本体 ¥840+税



日本経済新聞 2020/06/27



告解

薬丸 岳 著

講談社

飲酒運転中、1 人の老女の命を奪ってしまった大学生の籬翔太。懲役 4 年を超える実刑を下された翔太を、被害者の夫は「ある思い」を胸に待ち続け…。贖罪の在り方を問う物語。『小説現代』掲載を大幅に加筆・修正し単行本化。

2020:4./ 292p

978-4-06-514706-1

本体 ¥1,650+税



日本経済新聞 2020/06/27



一人と千三百人/二人の中尉～平沢計七先駆作品集～(講談社文芸文庫 ひ J1)

平沢 計七／大和田 茂 著

講談社

関東大震災の混乱のなか、亀戸事件によってわずか 34 歳で非業の死を遂げた労働運動家・平沢計七。彼は短い生涯で、瑞々しくも鮮烈な文芸作品を遺していた。短篇小説 13 篇、戯曲 7 篇と評論・エッセイ 7 篇を精選し収録。

2020:4./ 349p

978-4-06-518803-3

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2020/06/27



美術展の不都合な真実(新潮新書 861)

古賀 太 著
新潮社

フェルメール、ゴッホ、モネなど、屈指の名画が来日するのは、「美術展ビジネス」が大金を生むからだ！新聞社の事業部で美術展を企画した著者が、その裏事情を解説。本当に観るべき展示を見極める目を養う必読ガイド。

日本経済新聞 2020/06/27

2020.5./ 210p

978-4-10-610861-7

本体 ¥760+税



民族自決と民族団結～ソ連と中国の民族エリート～

熊倉 潤 著
東京大学出版会

ソ連と中国の少数民族政策について、カザフ共和国と新疆ウイグル自治区を取り上げて比較。両国の制度的な差異、国家そのものの差異を明らかにし、崩壊した国家・ソ連と存続した国家・中国の本質に迫る。

日本経済新聞 2020/06/27

2020.3./

6p,239p,129p

978-4-13-036278-8

本体 ¥7,600+税



イライラしたら豆を買いなさい～人生のトリセツ 88 のことば～(文春新書 1261)

林家 木久扇 著
文藝春秋

前例にとらわれず、直感にしたがって動いてきた木久扇師匠が贈る生き方指南本。「妻には言い返さない」「仕事はまず動いてから、振り返れ」「老いてもいたずら心を忘れない」など、不透明な時代を生き抜くヒントが満載。

日本経済新聞 2020/06/27

2020.5./ 255p

978-4-16-661261-1

本体 ¥800+税



神々は真っ先に逃げ帰った～棄民棄兵とシベリア抑留～

アンドレイ・バーシェイ 著
人文書院

日ソ戦争勃発時、「分霊」された神社の鏡と将校たちは内地に逃げ帰り、無力な兵隊と民間人がのこされた…。苛酷なシベリア抑留体験をした香月泰男、高杉一郎らの戦中戦後を感性鋭くたどりながら、捕虜達の喪失の意味をさぐる。

日本経済新聞 2020/06/27

2020.5./ 296p

978-4-409-52081-9

本体 ¥3,800+税



かさじぞう(はじめての世界名作えほん 15)

ポプラ社

貧乏なじいさまは、雪をかぶった 6 体のお地蔵様のうち、5 体に売り物のかさをかぶせ、残りの 1 体に分自分のてぬぐいをまきつけてあげました。すると、その夜…。美しいことば、親しみやすいイラストで、名作を楽しめる絵本。

日本経済新聞 2020/06/27

2018.3./ 26p

978-4-591-15201-0

本体 ¥350+税



牛疫～兵器化され、根絶されたウイルス～

アマンダ・ケイ・マクヴェティ／城山英明 著
みすず書房

そのウイルスを制御する力を得たとき、ある人々は根絶を夢想し連帯を訴え、ある人々はそれを兵器に変えた。人類が根絶に成功した 2 種のウイルスのうちの 1 つ、牛疫との 150 年にわたる戦いの物語。

日本経済新聞 2020/06/27

2020.5./ 8p,269p,57p

978-4-622-08887-5

本体 ¥4,000+税





ファシズムはどこからやってくるか

ジェイソン・スタンリー 著

青土社

ヒトラー時代のモラルパニックから、ドナルド・トランプのレトリックまで。大衆の情動はいかにして扇動されるのか。「我々」と「やつら」のあいだに線引きをする政治的手法の歴史と現在から、ファシズムの正体を明らかにする。

日本経済新聞 2020/06/27

2020:2./ 223p,13p

978-4-7917-7251-3

本体 ¥2,000+税



月の科学と人間の歴史～ラスコー洞窟、知的生命体の発見騒動から火星行きの基地化まで～

デイビッド・ホワイトハウス 著

築地書館

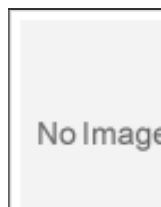
古代エジプト、イスラム、ルネサンスから近現代の科学者まで、無数の人びとを魅了し、科学研究を動機付けてきた月。天文学への造詣の深い著者が、先史時代から現代までの、神話から科学研究までの、人間と月との関係を描く。

日本経済新聞 2020/06/27

2020:2./ 402p

978-4-8067-1597-9

本体 ¥3,400+税



だいくとおにろく(こどものとも傑作集)

松居 直、赤羽 末吉 著

福音館書店

日本経済新聞 2020/06/27

1967:2./ 27p

978-4-8340-0085-6

本体 ¥900+税



絵本画家 赤羽末吉～スーホの草原にける虹～

赤羽茂乃 著

福音館書店

「スーホの白い馬」で知られる赤羽末吉。日本初の国際アンデルセン賞画家賞に輝いた画家は、どのように誕生したのか。三男の妻である著者が、義父への深い思いとともに語り尽くす。ひとりの絵本画家、そしてその家族の物語。

日本経済新聞 2020/06/27

2020:5./ 589p 図版
16p

978-4-8340-8550-1

本体 ¥2,500+税



心おどる昂揚～輝くアイルランド～

アリス・テイラー、高橋 歩 著

未知谷

アイルランドの牧場、昔ながらのやり方を尊ぶ慎ましい暮らし、日常のキラリと輝く瞬間をしっかりと?むこと…。アイルランドの作家による、きらきら輝く天然石が詰まった小箱のようなエッセイ集。

日本経済新聞 2020/06/27

2020:6./ 217p

978-4-89642-612-0

本体 ¥2,500+税



ロシア万華鏡～社会・文学・芸術～(五柳叢書 109)

沼野 恭子 著

五柳書院

ロシアの風土に生きる人々の暮らし、笑い、活力、そして懐しさ。東京外国語大学教授・沼野恭子が2007年よりおよそ10年間に書き溜めたロシアに関する文章をまとめる。「社会編」「文学編」「芸術編」で構成。

日本経済新聞 2020/06/27

2020:3./ 406p

978-4-901646-36-9

本体 ¥2,800+税





声に出して読みたい理系用語～数学 物理 化学 生物 地学 医学～

信定 邦洋 著

KADOKAWA

「青木まりこ現象」「スターバースト銀河」「アーバスキューラ菌根菌」…。気になる理系用語をわかりやすく解説する。思わず笑ってしまう用例、理系あるある、科学者の名言、理系豆知識も掲載。

2020.3./ 191p

978-4-04-604321-4

本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2020/06/06



つげ義春大全<第 16 巻> ねじ式 ゲンセンカン主人(KCDX)

つげ 義春 著

講談社

日本の漫画史を語るとき必ずその名前が浮上し、作品発表から 50 年を超える今でも、その芸術性の高さが評価される漫画家・つげ義春の決定版全集。第 16 巻は「ねじ式」「ゲンセンカン主人」など代表作 15 篇を収録。

2020.4./ 361p

978-4-06-516407-5

本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2020/06/06



つげ義春日記(講談社文芸文庫 つ K1)

つげ 義春 著

講談社

昭和 50 年代、漫画家つげ義春は自作漫画が次々と文庫化され、人気を博す。一方で、将来への不安、育児の苦労、妻の闘病と自身の不調など、人生の尽きせぬ悩みに向き合う日々を、私小説さながらにユーモア漂う文体で綴る。

2020.3./ 374p

978-4-06-519067-8

本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2020/06/06



トニオ・クレーゲル ヴェニスに死す 改版(新潮文庫)

トーマス・マン 著

新潮社

毎日新聞 2020/06/06

1995.12./ 228p

978-4-10-202201-6

本体 ¥520+税



結婚してみることにした。～壇蜜ダイアリー 2～

壇 蜜 著

文藝春秋

モモジタカゲのサチ子に、ナマケモノの浜平を迎え、食べる、眠る、ゆっくり泳ぐ、長めのサウナ…。そんな毎日から、いい夫婦の日に、結婚-。壇蜜が綴った 2018-2019 の日記。直筆メッセージも掲載。

2020.3./ 173p

978-4-16-391187-8

本体 ¥1,100+税



毎日新聞 2020/06/06



コロナショック・サバイバル～日本経済復興計画～

富山 和彦 著

文藝春秋

新型コロナウイルスによるパンデミックで、世界経済は生産と消費の両方を大幅に抑制せざるをえない情勢である。産業崩壊、金融崩壊、雇用崩壊、経済崩壊の危機との戦いにどう勝ち抜くかを解説する。

2020.5./ 118p

978-4-16-391229-5

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2020/06/06



あとを継ぐひと

田中 兆子 著
光文社

トランスジェンダーの範之は実家の老舗旅館で仲居の修行中だが、母である女将がなかなか認めてくれず…。6つの職業現場を舞台に、新しい時代の働き方、暮らし方、生き方を見つめる仕事小説集。『小説宝石』掲載等を単行本化。

2020/4./ 234p

978-4-334-91343-4

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2020/06/06



熊谷守一 わたしはわたし

熊谷守一 著
求龍堂

画業をたどるうでで欠かせない代表作と、近年、所在が明らかになった逸品などを中心とした油彩画、日本画、書の約200点に、作品解説、評伝年譜、各界からのエッセイを収録。「生誕140周年熊谷守一展」公式図録兼書籍。

2020/4./ 245p

978-4-7630-2010-9

本体 ¥2,600+税



毎日新聞 2020/06/06



沖縄芸能のダイナミズム〜創造・表象・越境〜

久万田 晋／三島 わかな 編
七月社

近世琉球国時代から近現代沖縄社会にかけてはぐくまれた沖縄芸能。伝統と変容の間でゆらぎ、時代の変化に翻弄され、それでも人々のアイデンティティであり続けた沖縄芸能の300年を、さまざまなトピックから描き出す。

2020/4./ 376p

978-4-909544-07-0

本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2020/06/06



フジモトマサルの仕事(コロナ・ブックス 221)

コロナ・ブックス編集部 編
平凡社

2015年に亡くなった漫画家/イラストレーター、フジモトマサルの仕事を通覧する一冊。巻頭言は村上春樹。穂村弘、森見登美彦らによる寄稿、2万2000字ロングインタビュー、単行本未収録コミック&エッセイ等を収録。

2020/4./ 127p

978-4-582-63520-1

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2020/06/06、朝日新聞 2020/06/20



平尾誠二を語る

橋野 薫／込山 駿 著
草思社

ラグビーW杯大躍進の陰には、この男のビジョンがあった！53歳で早世した「ミスターラグビー」平尾誠二の情熱と魅力を、山中伸弥、山口良治、岡村啓嗣、松尾雄治らが語り尽くす。読売新聞オンラインの連載を単行本化。

2020/4./ 310p

978-4-7942-2452-1

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2020/06/06、読売新聞 2020/06/28



五輪と戦後〜上演としての東京オリンピック〜

吉見 俊哉 著
河出書房新社

日本にとって五輪とはいったい何なのか？ポスト戦争の時代に整えられた東京オリンピックの舞台。聖火リレーという演出、国民的英雄を生んだ競技という上演、そして再演…。五輪というドラマを活写し、戦後日本の呪縛を解く。

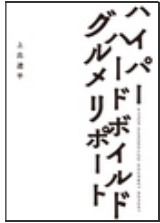
2020/4./ 366p

978-4-309-25405-0

本体 ¥2,600+税



毎日新聞 2020/06/06、日本経済新聞 2020/06/13



ハイパーハードボイルドグルメリポート

上出遼平 著

朝日新聞出版

食うこと、すなわち生きること。リベリアの人食い少年兵の廃墟飯、台湾マフィアの贅沢中華、ケニアのゴミ山スカベンジャー飯など、ヤバい世界で生きる人々の飯をレポートする。テレビ東京の同名番組を書籍化。

2020.3./ 521p

978-4-02-251674-9

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2020/06/06、毎日新聞 2020/06/13



集結〜P 分署捜査班〜(創元推理文庫 M テ 19-1)

マウリツィオ・デ・ジョバンニ 著

東京創元社

重大な不祥事を起こしたピッツォファルコーネ署へ送り込まれたのは、独自の捜査方針を貫くロヤコーノ警部を筆頭に各分署が持て余した刑事ばかり。彼らは急造捜査班を結成し、続発する難事件に挑んでいく…。

2020.5./ 364p

978-4-488-29604-9

本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2020/06/07



一門〜“冴えん師匠”がなぜ強い棋士を育てられたのか?〜

神田憲行 著

朝日新聞出版

棋界の名伯楽・森信雄が伝えた将棋の強さよりも大切なこととは。「冴えん師匠」が「関西の名門」と呼ばれるほど多くの弟子を育てた秘密を探るとともに、個性派ぞろいの弟子の素顔を紹介する。『ヤフーニュース』特集を書籍化。

2020.5./ 261p

978-4-02-251682-4

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2020/06/13



事件持ち

伊兼 源太郎 著

KADOKAWA

報日新聞の若手記者・永尾哲平は、千葉県下で起きた猟奇的な連続絞殺事件の取材を始める。捜査情報をつかめずに苛立つ記者クラブは県警批判を開始。犯人逮捕の手がかりを得られない県警は、報日新聞にある取引を持ち掛け…。

2020.5./ 325p

978-4-04-109312-2

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2020/06/13



またね家族

松居 大悟 著

講談社

小劇団を主宰する僕のもとに、父から連絡があった。余命 3 カ月だという。周囲を取り巻く環境が目まぐるしく変わる中、僕は故郷の福岡と東京を行き来しながら、自分と「家族」を見つめなおしていく。

2020.5./ 332p

978-4-06-518291-8

本体 ¥1,650+税



毎日新聞 2020/06/13



百年戦争〜中世ヨーロッパ最後の戦い〜(中公新書 2582)

佐藤 猛 著

中央公論新社

イングランドの大陸領をめぐる積年の対立に、フランス王位継承権争いが絡んで勃発した百年戦争。戦乱を経て、双方の国民意識はどのように生まれたか。ヨーロッパ中世に終止符を打った戦争の全貌を描き、歴史的意義を解明する。

2020.3./ 4p,286p

978-4-12-102582-1

本体 ¥920+税



毎日新聞 2020/06/13



女帝小池百合子

石井 妙子 著

文藝春秋

女性初の都知事であり、女性初の総理候補とされる小池百合子。キャスターから政治の道へ、男性社会にありながら常に「風」を巻き起こし、権力の頂点を目指す彼女の数奇な半生、つきまとう疑惑を、綿密な取材で描き切る。

2020/5./ 444p

978-4-16-391230-1

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2020/06/13



ゴーンショック〜日産カルロス・ゴーン事件の真相〜

朝日新聞取材班 著

幻冬舎

2018 年 11 月 19 日、電撃逮捕。2019 年 12 月 29 日、国外逃亡。日本のみならず、世界中を騒がせた「ゴーンショック」。なぜ日本企業では類を見ない不正を日産は許したのか。迫力の調査報道ノンフィクション。

2020/5./ 411p

978-4-344-03608-6

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2020/06/13



孤島(ちくま学芸文庫 ク 30-1)

ジャン・グルニエ 著

筑摩書房

愛猫の生と死、想像のなかのインド、地中海への憧憬…。「島」を統一テーマに人生のかけがえのない瞬間について綴ったオムニバス形式の作品集。経験への繊細なまなざしを通して、生の本質を啓く哲学的エッセイの傑作。

2019/4./ 230p

978-4-480-09921-1

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2020/06/13



新しい地政学

北岡 伸一／細谷 雄一 編

東洋経済新報社

トランプ、中国の軍備増強、中東情勢、ブレグジット…。「地政学の再台頭」「新しい地政学」と言われる現象について、2015?18 年に行われた共同研究「新しい地政学の時代における国際秩序を考える」の成果をまとめる。

2020/2./ 421p

978-4-492-44456-6

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2020/06/13



博論日記

ティファニス・リヴィエール 著

花伝社

カフカの「博士論文」を書くことを通じて、学問の秘密、大学の秘密、社会の秘密を探りあてる、若き女性学徒ジャンヌ。3 年で終わるつもりが、もう 7 年。陰鬱な院生の日常生活をコミカルに描いたバンド・デシネ。

2020/4./ 188p

978-4-7634-0923-2

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2020/06/13



世界一美しいメダカの育て方〜トップブリーダーが教える飼育と繁殖〜

戸松 具視 著

エクスナレッジ

美しい写真とイラストで、メダカのすべてがわかる! 定番種から新種までを収めた品種図鑑をはじめ、丈夫に育つ正しい飼い方、美しいアクアリウムの作り方、初心者でもできる繁殖術、メダカとの幸せな暮らし方などを収録。

2020/5./ 173p

978-4-7678-2743-8

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2020/06/13



二〇世紀「英国」小説の展開

高橋 和久／丹治 愛 著

松柏社

20 世紀の英国小説研究の新しい傾向を踏まえつつ、「文学を読む」意味を問い直す。ヘンリー・ジェイムズ「金色の盃」から、カズオ・イシグロ「充たされざる者」まで、20 世紀の代表的な作家の作品論全 18 編を収録。

2020/3./ 515p

978-4-7754-0269-6

本体 ¥4,800+税



毎日新聞 2020/06/13



アンビルの終わり～ザハ・ハディドと新国立競技場～

飯島 洋一 著

青土社

建築家たちは、なぜ「アンビル」を描くのか。資本と消費の論理が先行し、物語や理念が失われた時代に、建築の未来を語れるのか。混迷を極めた新国立競技場問題の背景を検証。「建てられざる建築」とその終わりをめぐる論考。

2020/4./ 990p

978-4-7917-7265-0

本体 ¥6,200+税



毎日新聞 2020/06/13



荘直温伝～忘却の町高梁と松山庄家の九百年～

松原 隆一郎／荘 芳枝 著

吉備人出版

明治・大正時代、松山村長・高梁町長として郷土の安定と繁栄を願って私財を投じ、借金までして町の発展の為に一生を捧げた荘直温の生涯を綴る。個人史であると同時に、鎌倉時代に遡って荘家の歴史も研究した、幅広い歴史本。

2020/4./ 387p,8p

978-4-86069-612-2

本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2020/06/13



チョウはなぜ飛ぶか(岩波少年文庫 251)

日高 敏隆 著

岩波書店

動物行動学者・日高敏隆が小学生のときに気づいたチョウの習性。素朴な疑問と好奇心が、時を経て、チョウの生態を明らかにしていき…。研究とは「仮説」と「検証」の繰り返しであることを軽妙に伝える。エッセイ 2 編も収録。

2020/5./ 261p

978-4-00-114251-8

本体 ¥760+税



毎日新聞 2020/06/20



近代人の自由と古代人の自由・征服の精神と篡奪～他一篇～(岩波文庫 32-525-2)

コンスタン 著

岩波書店

小説「アドルフ」で知られるコンスタンの政治論集。古代と近代の自由の違いを明確にした講演、強権の支配を批判して、ナポレオン後のリベラルな政治体制の確立を訴えた著作などを収録する。

2020/5./ 391p

978-4-00-325252-9

本体 ¥1,010+税



毎日新聞 2020/06/20



博士の愛したジミな昆虫(岩波ジュニア新書 916)

金子 修治、鈴木 紀之、安田 弘法 著

岩波書店

スター昆虫ではないけれど、ジミな虫たちだって、やっтерことはスゴすぎる! SF みたいなびっくり生態、植物やほかの虫たちとの複雑怪奇なからみ合い…。その謎を解いていくワクワクを、10 人の昆虫博士たちが熱く語る。

2020/4./ 11p,250p,3p

978-4-00-500916-9

本体 ¥880+税



毎日新聞 2020/06/20



閉ざされた扉をこじ開ける～排除と貧困に抗うソーシャルアクション～(朝日新書 754)

稲葉剛 著

朝日新聞出版

大人の貧困は自己責任という不寛容が日本社会を覆う中、社会から孤立し行政にも支援団体にもつながれない「見えない人たち」が増えている。「社会的に排除された側」からこの国を見つめ直す。『論座』連載を再構成し加筆修正。

2020.3./ 218p

978-4-02-295059-8

本体 ¥790+税



毎日新聞 2020/06/20



水を縫う

寺地 はるな 著

集英社

男なのに刺?が好きな弟。女なのにかわいいものが苦手な姉。愛情豊かな親になれなかった母…。世の中の普通や当たり前を問い直す、6 人の家族の物語。『小説すばる』連載を書籍化。

2020.5./ 240p

978-4-08-771712-9

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2020/06/20



家族じまい

桜木 紫乃 著

集英社

認知症の母と、齢を重ねても横暴な父。両親の老いに姉妹は戸惑い、それぞれ夫との仲も揺れて…。大人の諦観と慈愛に満ちた長編小説。『小説すばる』掲載を加筆し単行本化。

2020.6./ 271p

978-4-08-771714-3

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2020/06/20



平成政治史～政界再編とポスト冷戦型社会運動～(ちくま新書 1495)

大嶽 秀夫 著

筑摩書房

自民党一党優位打破が期待されたが、結局、自民党は政権の盤石化に成功した。なぜこのような結果になったのか? SEALDs や脱原発運動、在特会など、新しい社会運動の動向にも注目。激動の 30 年を俯瞰する政治史決定版。

2020.5./ 343p

978-4-480-07305-1

本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2020/06/20



今日のわたしは、だれ? ～認知症とともに生きる～

ウェンディ・ミッチェル 著

筑摩書房

58 歳で若年性アルツハイマーの診断を受けた。しだいに失われていく記憶。見知ったはずの世界が、突如知らないものになる恐怖に怯えながらも、残された理性と工夫で、病気を出し抜こうとし…。当事者が綴る認知症のリアル。

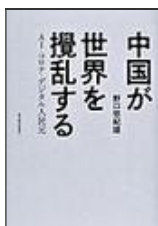
2020.3./ 282p

978-4-480-86090-3

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2020/06/20



中国が世界を攪乱する～AI・コロナ・デジタル人民元～

野口 悠紀雄 著

東洋経済新報社

ファーウェイ排除、米中貿易戦争、新型コロナ制圧…問題の本質はすべてつながっている。中国の成長を歴史の過程の中で位置付け、中国のハイテク産業の動向やその意味を論じる。ウェブ版『現代ビジネス』連載を元に書籍化。

2020.5./

22p,261p,15p

978-4-492-44457-3

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2020/06/20



私の絵本ろん～中・高校生のための絵本入門～ 新装版(平凡社ライブラリー 902)

赤羽 末吉 著

平凡社

「スーホの白い馬」「だいくとおにろく」...日本ではじめて国際アンデルセン賞を受賞した絵本画家による、絵本ろん。「良い絵本はなぜ古くならないのか」という創作の根源的な疑問を、平易な言葉でときあかす。

2020:5./ 262p

978-4-582-76902-9

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2020/06/20



陰翳礼讃

谷崎 潤一郎、大川 裕弘 著

パイインターナショナル

日本の美学の底には「暗がり」と「翳り」がある。日本人の暮らしの美学について、さまざまな方向から論究した谷崎潤一郎の「陰翳礼讃」に、「空気を撮る名匠」大川裕弘が写し撮った写真を添えたビジュアルブック。

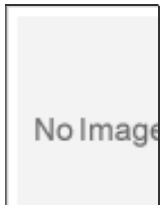
2018:1./ 242p

978-4-7562-5012-4

本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2020/06/20



バンクシー 壁に隠れた男の正体

ウィル・エルスワース=ジョーンズ 著

Parco出版

世の中の常識を軽やかにひっくり返す覆面芸術家・バンクシー。故郷のこと、お金のこと、協力者のことなど、ひとりの少年がどのように匿名のまま世界的なアーティストになっていったのか、その実像に迫る。

2020:6./ 496p

978-4-86506-334-9

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2020/06/20



芝居小屋戦記～神戸三宮シアター・エートーの奇跡と軌跡～

菱田 信也 著

苦楽堂

路地裏 50 坪のコインパーキングは、何がどうなって小劇場に変身したのか!? 街の真ん中にできた私設の芝居小屋「神戸三宮シアター・エートー」の軌跡や、それを立ち上げた者、そこに集まってきた人々の業務を紹介する。

2020:4./ 235p,4p

978-4-908087-11-0

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2020/06/20



此处～句集～

池田 澄子 著

朔出版

プロメテウスの知らぬ火いかに春寒し よく晴れて人がいっぱい恵方はどっち 子規の忌の月下そよいでいる言の葉 2015 年後半から 2020 年初めまでの 380 句を纏めた第 7 句集。

2020:6./ 213p

978-4-908978-45-6

本体 ¥2,600+税



毎日新聞 2020/06/20



スーホの白い馬～モンゴル民話～(日本傑作絵本シリーズ)

大塚 勇三、赤羽 末吉 著

福音館書店

貧しいけれど働き者の羊飼いの少年スーホ。草原で拾った白い子馬を一生懸命に育てるのだが…。少年と馬との悲しくも美しい民話。

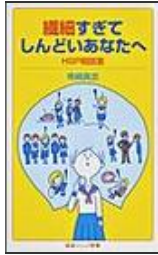
1967:10./ 1冊

978-4-8340-0112-9

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2020/06/20、日本経済新聞 2020/06/27



繊細すぎてしんどいあなたへ〜HSP 相談室〜(岩波ジュニア新書 919)

串崎 真志 著

岩波書店

怒っている人が怖い、教室に居づらい…。繊細な気持ちに悩む若い人のために、繊細な性格の特徴と、それがどう長所になるかを解説。生きづらさや傷つきやすさを最小限に抑え、生きる力として活かす方法をアドバイスする。

毎日新聞 2020/06/27

2020:5./ 10p,173p

978-4-00-500919-0

本体 ¥800+税



徒然草〜現代語訳付き〜 新版(角川ソフィア文庫 A311-1)

兼好法師／小川 剛生 著

KADOKAWA

日本人にもっとも親しまれてきた随筆「徒然草」。人生・恋愛・政道など、243 段の話題がしばしば連想的な配列で並ぶ。近年劇的に進んだ中世の歴史学の研究成果を取り込み、本文、注釈、現代語訳のすべてを刷新した新版。

毎日新聞 2020/06/27

2015:3./ 475p

978-4-04-400118-6

本体 ¥1,080+税



ミシェル・フーコー 増補改訂(講談社学術文庫 2615)

内田 隆三 著

講談社

歴史上の言説分析から合理性の型の多様さを描き出し、思考の臨界点に挑んだ「知の考古学者」ミシェル・フーコーの到達点とは? 原本に長大な序文を付して全貌に迫る。

毎日新聞 2020/06/27

2020:6./ 301p

978-4-06-519898-8

本体 ¥1,150+税



ファウスト<悲劇第1部> 改版(中公文庫 ケ1-4)

ゲーテ 著

中央公論新社

あらゆる知的探究も欲求を満たさないことに絶望したファウストは、悪魔メフィストフェレスと魂をかけた契約を結び…。ゲーテが言葉の深長な象徴力を駆使しつつ自然と人生の深奥に迫った大作。河盛好蔵らのエッセイも収録。

毎日新聞 2020/06/27

2019:5./ 465p

978-4-12-206741-7

本体 ¥1,400+税



2020 年・米朝核戦争(文春文庫 ル7-1)

ジェフリー・ルイス 著

文藝春秋

2020 年に起こった核戦争をアメリカ議会の委員会が調査・報告したレポートという体裁で、各国政府内部の意思決定プロセスや危機管理の危うさを詳細に記述。核攻撃が現代都市に及ぼす惨事も描くシミュレーション・ノヴェル。

毎日新聞 2020/06/27

2020:5./ 319p

978-4-16-791502-5

本体 ¥850+税



マクベス(光文社古典新訳文庫)

シェイクスピア 著

光文社

毎日新聞 2020/06/27

2008:9./ 231p

978-4-334-75164-7

本体 ¥560+税





戦争と平和<1>(光文社古典新訳文庫 KAト3-7)

トルストイ 著
光文社

始まりは 1805 年夏、ペテルブルグでの夜会。全ヨーロッパ秩序の再編を狙う独裁者ナポレオンとの戦争(祖国戦争)の時代を舞台に、国難に立ち向かうロシアの人びとの姿を描いたトルストイの代表作。

2020.1./ 525p

978-4-334-75417-4

本体 ¥1,080+税



毎日新聞 2020/06/27



戦争と平和<2>(光文社古典新訳文庫 KAト3-8)

トルストイ 著
光文社

内輪もめともいえる軍内部の指揮権の乱れと混成軍統率の難しさ。この戦争の最大の山場「アウステルリッツの戦い」を舞台の中心に、アンドレイとニコライが、私生活ではピエールが大きな転機を迎える第2巻。

2020.5./ 583p

978-4-334-75425-9

本体 ¥1,100+税



毎日新聞 2020/06/27



彼らを書く

片岡 義男 著
光文社

ザ・ビートルズ、ボブ・ディラン、エルヴィス・プレスリー。DVD31 作品のなかに、いまも「彼ら」はいる…。彼らの音楽映画にまつわるエッセイ 31 篇と、貴重写真 87 枚が絡み合うオール・カラーBOOK。

2020.4./ 254p

978-4-334-95164-1

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2020/06/27



だから古典は面白い(幻冬舎新書 の-3-1)

野口 悠紀雄 著
幻冬舎

トルストイの「戦争と平和」、シェイクスピアの「マクベス」…。古典を読めば、そのめくるめく世界観に心浮き立ち、仕事や人生に有益な知識も身につく。無類の読書家・経済学者の著者が、面白くて役に立つ本の読み方を伝える。

2020.3./ 281p

978-4-344-98587-2

本体 ¥840+税



毎日新聞 2020/06/27



中国禅宗史～「禅の語録」導読～(ちくま学芸文庫 オ31-1)

小川 隆 著
筑摩書房

伝灯、清規、問答、語録…。「禅」は、こうして「禅宗」となった! 「禅宗」の特徴と歴史を、「禅の語録」の解説に基づきつつ、簡明に描き出す中国禅宗概論。「語録」の世界へ踏み込むための、格好の案内書。

2020.4./ 376p,21p

978-4-480-09964-8

本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2020/06/27



治したくない～ひがし町診療所の日々～

斉藤 道雄 著
みすず書房

北海道、浦河。そこに精神障害やアルコール依存をかかえる人びとのための小さなクリニックがある。医者が出番を減らす時、精神障害をかかえる人びとが主役になり、新たな精神医療が始まる。べてるの家のその先へ向かうルポ。

2020.5./ 5p,246p

978-4-622-08900-1

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2020/06/27



BTS を読む～なぜ世界を夢中にさせるのか～

キム ヨンデ 著
柏書房

BTS(防弾少年団)は他のアーティストと何が違う? BTS 現象の本質とは? 世界的人気をほこる BTS を、気鋭の音楽評論家が徹底分析する。アルバムレビューや日本版書き下ろし「BTS のこれから」も収録。

2020/5./ 303p
978-4-7601-5219-3
本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2020/06/27



美しい日本語 荷風<3> 心の自由をまもる言葉

永井 荷風／持田 叙子／高柳 克弘 著
慶應義塾大学出版会

永井荷風の生誕 140 年、没後 60 年を記念して、荷風の美しい日本語を詩・散文、俳句から選りすぐり、堪能できるアンソロジー。3 は、「批評家の任務」「勲章」など、ひたすら読む人と対話して書いた、自由な言葉を収録。

2020/6./ 217p
978-4-7664-2618-2
本体 ¥2,700+税



毎日新聞 2020/06/27



養蚕と蚕神～近代産業に息づく民俗的想像力～

沢辺 満智子 著
慶應義塾大学出版会

織細を極め、人の手を借りなければいけない「お蚕さま」。その飼育を担ったのは農村の女性たちの熟練した身体的技術と、連綿と受け継がれてきた民俗的想像力だった。近代産業のもう一つの側面を鮮やかに織り上げた力作。

2020/2./ 307p,16p
978-4-7664-2644-1
本体 ¥5,600+税



毎日新聞 2020/06/27



ビーズでたどるホモ・サピエンス史～美の起源に迫る～

池谷和信 編
昭和堂

ビーズの素材や細工は地域や時代によって多種多様。そして富や威信、集団の象徴など社会的役割を担ってきた。ビーズの誕生した 12 万年前から現在まで、地球全域をフィールドに、ビーズを手がかりとして人類の歴史をたどる。

2020/4./ 11p,297p 図
版 8 枚
978-4-8122-1927-0



毎日新聞 2020/06/27



まんがで読む文明の起源 シリアの先史時代

常木晃 著
悠書館

農耕の始まりや都市社会の始まりに特に重要な役割を果たした先史時代のシリア。内戦などにより破壊の危機に瀕しているシリアの文化遺産を守るための基盤となるように、シリアの歴史の重要性をわかりやすくまんがで伝える。

2020/3./ 9p,221p
978-4-86582-041-6
本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2020/06/27



イエスという男 第2版増補改訂版

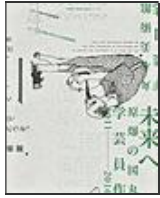
田川 建三 著
作品社

彼がどこから来たのかは知らない。気がついたら活動していたのだ…。「イエスはキリスト教ではなく、歴史の先駆者である」という視点から、歴史の本質を担った逆説的反逆者の生と死を綴る。80 年三一書房刊の増補改訂版。

2004/6./ 430p
978-4-87893-681-4
本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2020/06/27



未来へ～原爆の図丸木美術館学芸員作業日誌 2011-2016～

岡村 幸宣 著

新宿書房

「原爆の図」を胸に抱いて歩き続ける荒野の先に、過去と未来がつながっていく。東松山からアメリカ、ヨーロッパまで、時間と空間を超えて交錯する出会いと終わりのなき逡巡の日々を綴る。『東京新聞』ほか掲載を加筆し書籍化。

2020:3./ 323p

978-4-88008-480-0

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2020/06/27



どうぶつの修復

藤原 安紀子 著

港の人

研究所なのか工場なのか。六角形の古びたふたつの塔を最上階のみが見つないでいる構造物のゲートにいる。周囲はいちめん牧場、視界のかぎり他に存在はみあたらない。('じかん<庭園>'より) 詩集。本体は背表紙なし糸綴じ。

2019:10./ 139p

978-4-89629-368-5

本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2020/06/27



俳句旅枕～みちの奥へ～

渡辺 誠一郎 著

コールサック社

君をおきてあだし心をわが持たば末の松山波も越えなむ。芭蕉、子規、碧梧桐、青邨、兜太らの足跡を辿り、東日本大震災後のみちのくを巡る俳句紀行。『俳句』連載を加筆し書籍化。

2020:5./ 301p

978-4-86435-438-7

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2020/06/29